

WebSAM DeploymentManager Ver6.12

PCキッティング 簡易ガイド 第1版

2022年 11月

日本電気株式会社

DeploymentManagerホームページ： <http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/>

PCキッティング 簡易ガイド

本ガイドは、WebSAM DeploymentManager(以降、DPMと表記する場合があります)に初めて触れる方を対象として、DPMの一括OS展開機能を利用してビジネスPCに対するWindows OSのキッティングを効率的に行う手順について、説明しています。

より詳しい使用方法は、以下のサイトに掲載されている各マニュアルを参照してください。

<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/download.html>

- WebSAM DeploymentManager 一括OS展開の利用ガイド
- WebSAM DeploymentManager Windows PE版Deploy-OSの利用ガイド

■目次

1. キットニング作業概要
 2. 環境構築、準備
 - 2.1. インストール前の準備
 - 2.2. DPMサーバのインストール
 - 2.3. ログイン、初期設定
 - 2.4. Windows PEイメージの作成・配置
 3. マスタイメージ作成
 - 3.1. マスタマシン構築、登録
 - 3.2. シナリオグループを追加する
 - 3.3. マスタマシンのディスク構成のチェック
 - 3.4. マスタマシンのバックアップ(復旧用)
 - 3.5. マスタイメージ作成の準備
 - 3.6. マスタイメージ作成
 - 3.7. マスタマシン復旧
 4. キットニング作業
 - 4.1. 一括OS展開の準備
 - 4.2. 一括OS展開モードをON
 - 4.3. キットニング作業
 - 4.4. 一括OS展開モードをOFF
 - 4.5. キットニング作業結果確認
 5. トラブルシューティング
- 付録. PCのMACアドレス、UUID確認方法

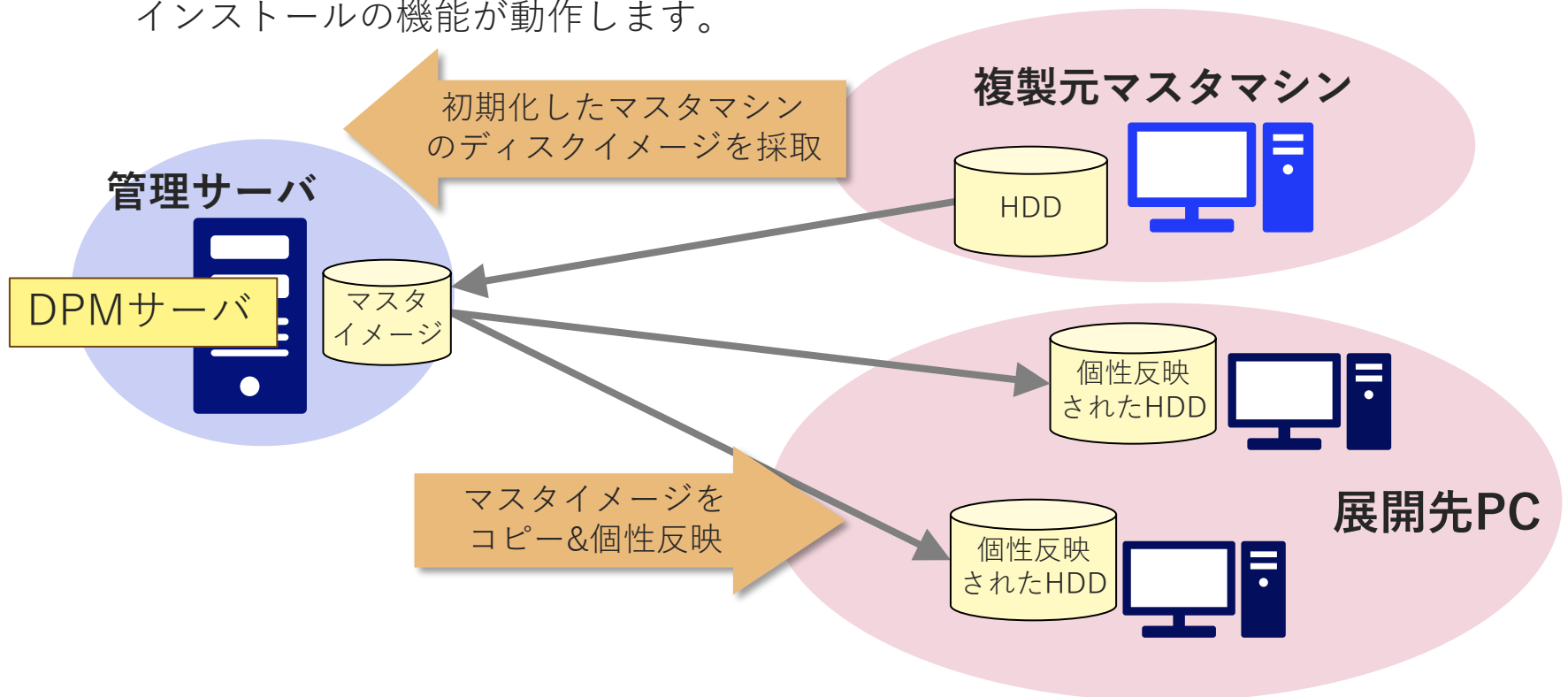
1. キットティング作業概要

1. キットティング作業概要

◆ キットティング作業で使用するDPMの機能

■ ディスク複製OSインストール機能

- マスタイメージ(複製元となるマスタマシンのHDDイメージ)を、複数のPCに展開する機能です。
- DPMの一括OS展開モードをONにすると、展開先のPCでの作業はケーブル接続やブート順位の設定のみで、展開先のPCを起動するだけで自動的にディスク複製OSインストールの機能が動作します。

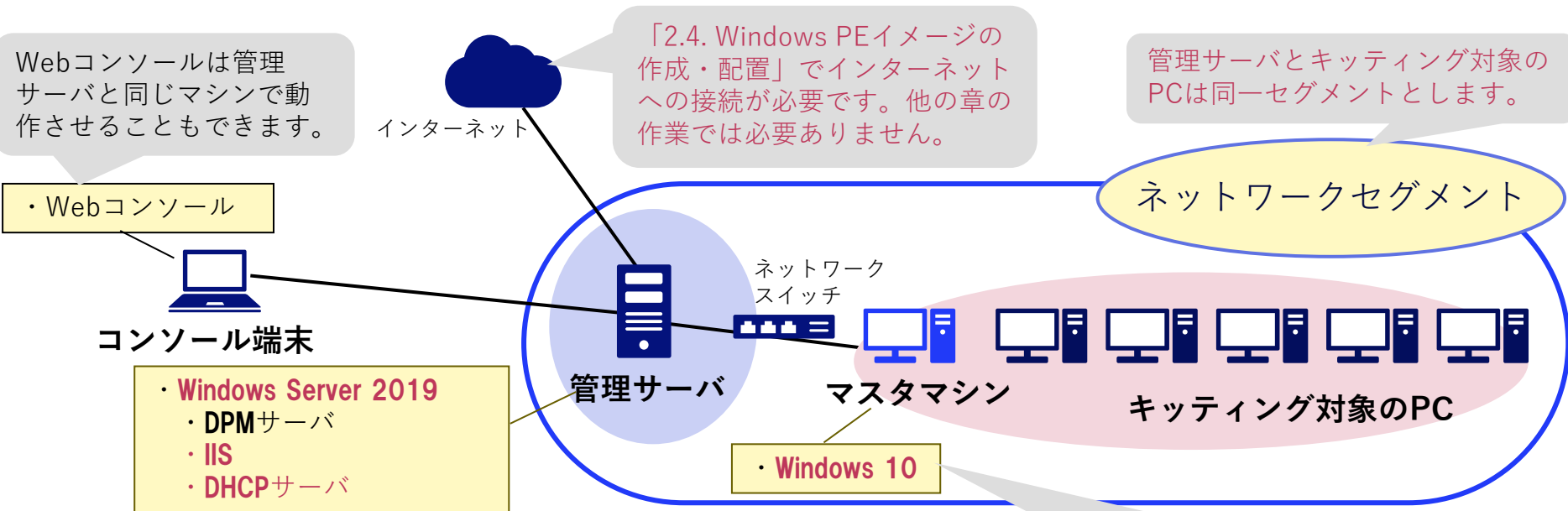


1. キットティング作業概要

◆ システム構成

本書で説明するシステム構成は、以下の通りです。

- 管理サーバが1台
- DHCPサーバを使用する(管理サーバとDHCPサーバが同居)
- キットティング後にDPMを使用した環境の運用管理を行わない



※黒字のコンポーネントは、DPMの製品媒体だけで実現できます。
赤字のコンポーネントは、別途用意する必要があります。

※DHCPサーバは、キットティング中のネットワークブート処理内で一時的に使用するIPアドレスを払い出すために使用します。
DHCPサーバを設置する場合でも、各管理対象マシンのOS稼動時には固定IPアドレスを使用することは可能です。

Windows 11にも対応しています。
DPMクライアントは不要です。

1. キットティング作業概要

◆ 用語説明

| 用語 | 説明 |
|----------|--|
| 管理サーバ | DPMサーバのインストール先のサーバです。 |
| DPMサーバ | DPMのコンポーネントの一つです。管理サーバにインストールします。管理対象のPC(管理対象マシン)の管理を行い、Webコンソールからの指示により管理対象マシンに対する処理を実行します。 |
| IIS | Microsoft Internet Information Servicesの略称です。管理サーバ上で構築し、DPMでWebベースの機能を提供するために使用します。 |
| Webコンソール | 管理対象マシンの状況確認や、管理対象マシンに対する処理を実行するユーザインタフェースです。 |
| DHCPサーバ | ネットワークブートによる運用を行う場合に、IPアドレスを払い出すために使用します。管理サーバ上で構築します。 |
| マスタマシン | マスタイメージの複製元として、使用するPCです。マスタマシンを手動構築後に、DPMを使用してマスタイメージを取得します。 |
| 管理対象マシン | DPMの機能の実行対象となるマシンです。本書では、マスタマシンやキットティング対象のPCが該当します。 |

1. キットティング作業概要

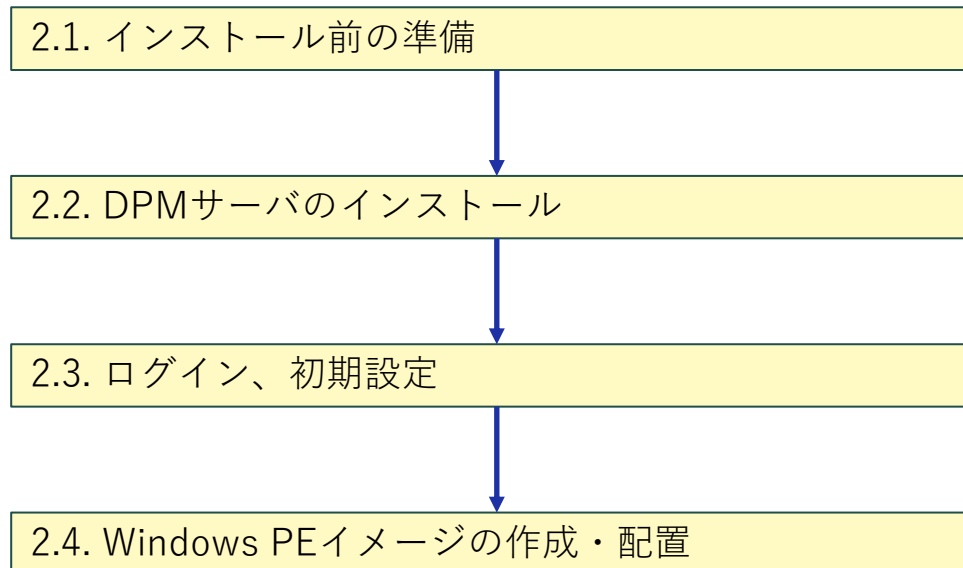
◆ 作業の流れ（1）

本書で紹介する作業の流れについて説明します。

■ 「2. 環境構築、準備」

管理サーバにDPMサーバをインストールし、初期設定を行います。

また、マスタマシンのバックアップやキットティングの一括OS展開時に使用するWindowsPEイメージの作成作業を行います。



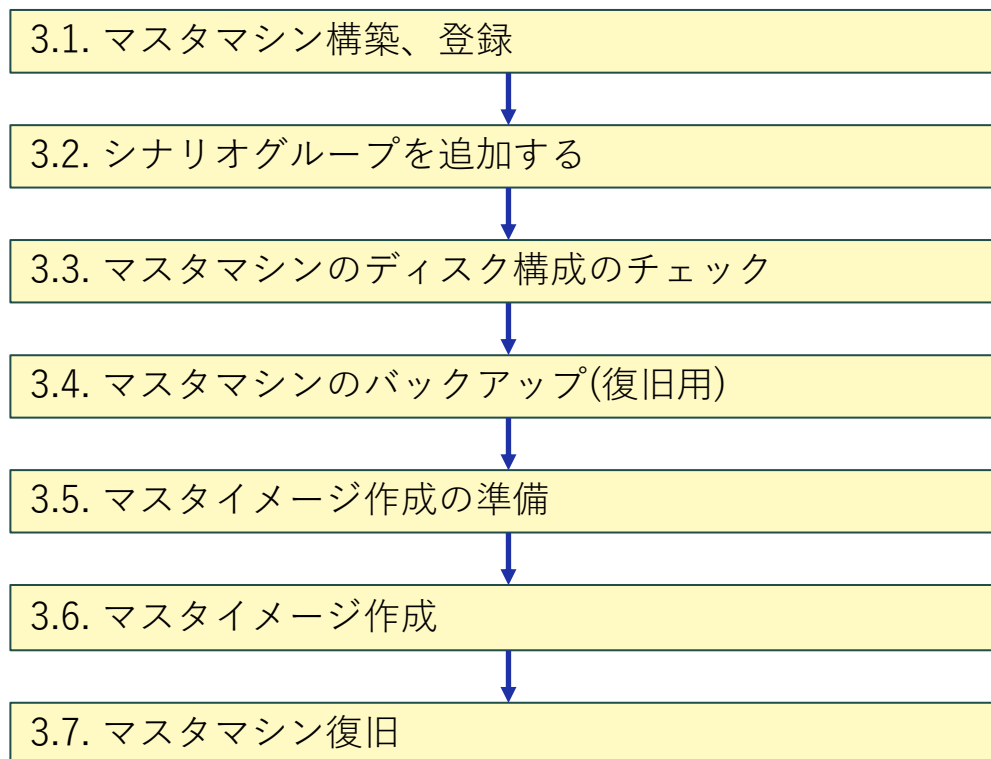
1. キットイング作業概要

◆ 作業の流れ（2）

■ 「3. マスタイメージ作成」

マスタマシンを構築し、DPMを使用してキットイングで使用するマスタマシンのイメージを作成します。

また、マスタマシンのイメージ作成時にマスタマシンの個性を削除するため、マスタイメージ作成前後にマスタマシンの復旧のための作業も行います。



1. キットティング作業概要

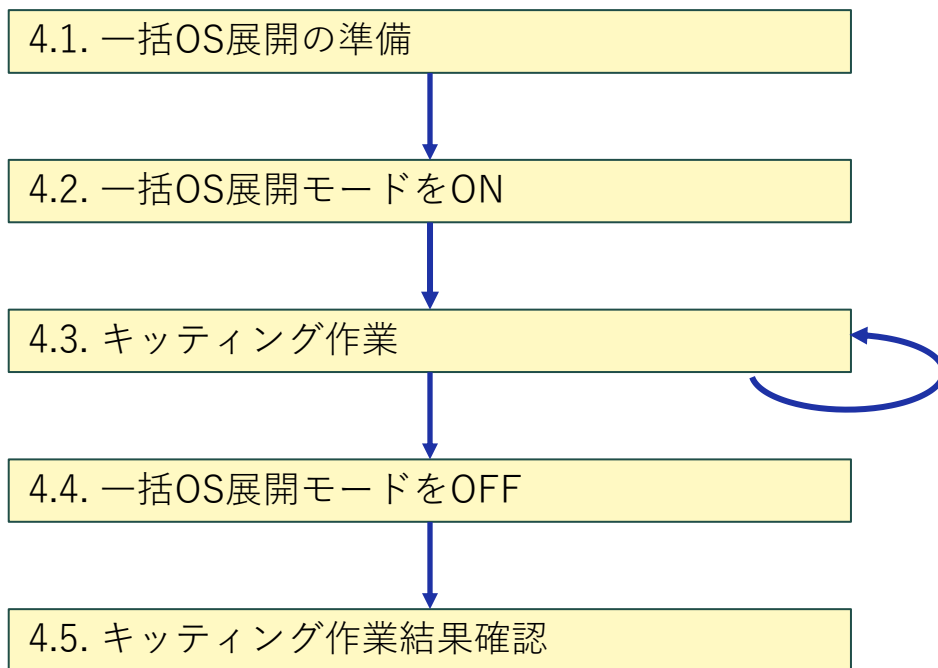
◆ 作業の流れ（3）

■ 「4. キットティング作業」

DPMの一括OS展開モードをONにして、キットティング作業を行います。

一括OS展開モードを有効にすると、キットティング対象のPCをネットワークにつなげて起動するだけで、ディスク複製OSインストールの処理が自動的に行われるようになります。

キットティング完了後は、CSVファイルのレポートで結果確認を行います。



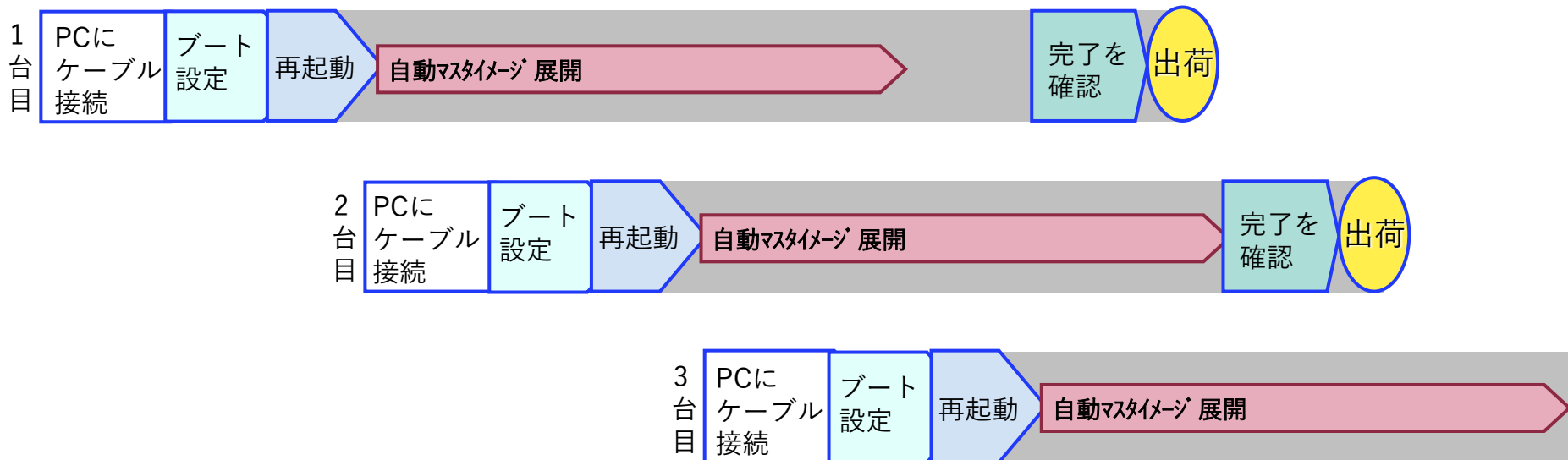
1. キットイング作業概要

◆ 作業の流れ（4）

■ 「4.3. キットイング作業」について

「4.3. キットイング作業」では、次の図のように複数PCへのマスタイメージの展開作業を同時に並行して行うことが可能です。

※デフォルトでは、最大で5並列の展開処理が可能です。



1. キットティング作業概要

◆ キットティング作業に際して事前に必要な情報（1）

キットティング作業に際して、あらかじめ用意が必要なパラメータについて以下に記載します。

■ 管理サーバ

| 項目 | 説明 | 本書での設定例 |
|--------|--|-------------|
| IPアドレス | ディスク複製OSインストール時の対象マシンからのDPMサーバへの接続先情報として使用します。 | 192.168.1.1 |

■ DHCPサーバ

| 項目 | 説明 | 本書での設定例 |
|--------------|------------------|---------------|
| IPアドレス範囲(先頭) | ネットワークブートで使用します。 | 192.168.1.50 |
| IPアドレス範囲(最終) | ネットワークブートで使用します。 | 192.168.1.100 |
| サブネットマスク | ネットワークブートで使用します。 | 255.255.255.0 |

■ DeploymentManager

| 項目 | 備考 | 本書での設定例 |
|---------|--|----------|
| ユーザ名 | DeploymentManagerへのログインで使用します。 | sysadmin |
| パスワード | DeploymentManagerへのログインで使用します。 任意の文字列を設定可能です。 | P@ssw0rd |
| ライセンスキー | DPMのライセンスキー XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX の形式 | (省略) |

1. キットティング作業概要

◆ キットティング作業に際して事前に必要な情報（2）

■ DeploymentManager

| 項目 | 備考 | 本書での設定例 |
|------------|--|---|
| マシングループ名 | 管理対象マシンの登録先のマシングループの名前。 | <ul style="list-style-type: none">・ マスタマシンの登録先のグループ名: <code>group-01</code>・ キットティング対象PCの登録先グループ名: <code>AutoOSDeployment</code> |
| シナリオグループ名 | 新規に作成するシナリオ登録先のシナリオグループの名前。 | <code>ScenarioGroup-01</code> |
| シナリオ名 | DPMの各操作で使用するシナリオの名前。 | <ul style="list-style-type: none">・ バックアップシナリオ(復旧用): <code>System_Backup_win10</code>・ バックアップシナリオ(ディスク複製インストール用): <code>System_MasterImage_win10</code>・ リストアシナリオ(復旧用): <code>System_Restore_Unicast_win10</code>・ 一括OS展開のシナリオ: <code>System_AutoDeploy_win10</code> |
| イメージファイル名 | DPMにより取得するイメージファイルの名前。 | <ul style="list-style-type: none">・ バックアップシナリオ(復旧用)、リストアシナリオ(復旧用) <code>C:¥DeployBackup¥backup_win10.lbr</code>・ マスタイメージ、バックアップシナリオ(ディスク複製インストール用)、一括OS展開のシナリオ <code>C:¥DeployBackup¥masterimage_win10.lbr</code> |
| マスタマシンの識別名 | マスタイメージの取得元のマシンの識別名。 | <code>win10</code> |
| OSパスワード | 展開先マシンのパスワード | <code>P@ssw0rd</code> |
| 対象モデル名 | 一括OS展開モードがONの時、電源ONされたマシンがキットティング対象モデルかどうか確認します。 | <code>PC-MJE34BZFC</code> |

2. 環境構築、準備

2.1. インストール前の準備

DPMをインストールする管理サーバに役割の追加やDHCPサーバの設定を行います。

◆ 管理サーバに、IIS、DHCPなどの役割を追加

DPMをインストールする管理サーバ（Windows Server 2019）に、インターネットインフォメーションサービス(IIS)、DHCPなどの役割を追加します。

- Powershellを管理者として起動します。
- IIS等の役割を追加します。Powershellの以下のコマンドを実行してください。

```
PS> Add-WindowsFeature Web-Server,Web-Static-Content,Web-Asp-Net45
```

- 次に、DHCPの役割を追加します。Powershellの以下のコマンドを実行してください。

```
PS> Add-WindowsFeature DHCP -IncludeManagementTools -IncludeAllSubFeature
```

2.1. インストール前の準備

◆ DHCPサーバ設定

- キットニング中にネットワークブート(PXEブート)でPCに払い出すIPアドレスの範囲について、以下の設定を行います。
 - IPv4:
 - 払い出すIPアドレスの範囲: 192.168.1.50 - 192.168.1.100
 - サブネットマスク: 255.255.0.0
- Powershellを管理者として実行し、 Powershellの以下のコマンドを実行してください。

```
PS> Add-DhcpServerv4Scope -Name PC -StartRange 192.168.1.50 -EndRange 192.168.1.100 -SubnetMask 255.255.255.0
```


2.2. DPMサーバのインストール

管理サーバにDPMサーバをインストールします。

◆ 管理サーバにDPMサーバをインストール（1）

- インストールするマシンに、管理者権限のあるユーザでログオンしてください。
- インストール媒体をDVDドライブにセットします。「DeploymentManagerセットアップ」画面が起動しますので、「DPMサーバ」を選択します。
- 「インストールコンポーネントの選択」画面が表示されますので、「OK」をクリックします。

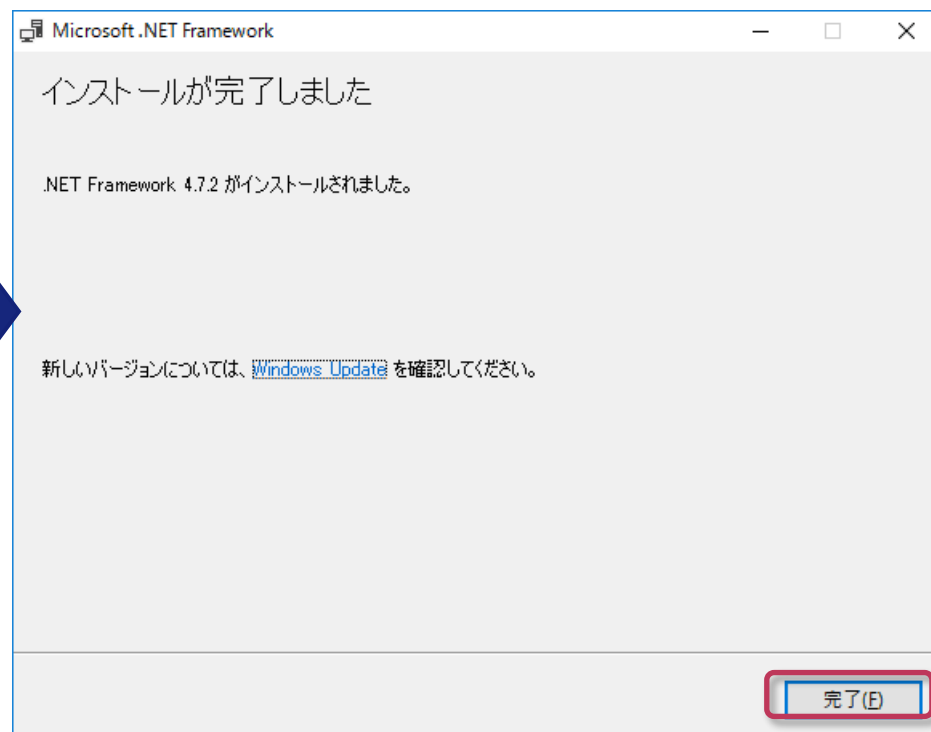
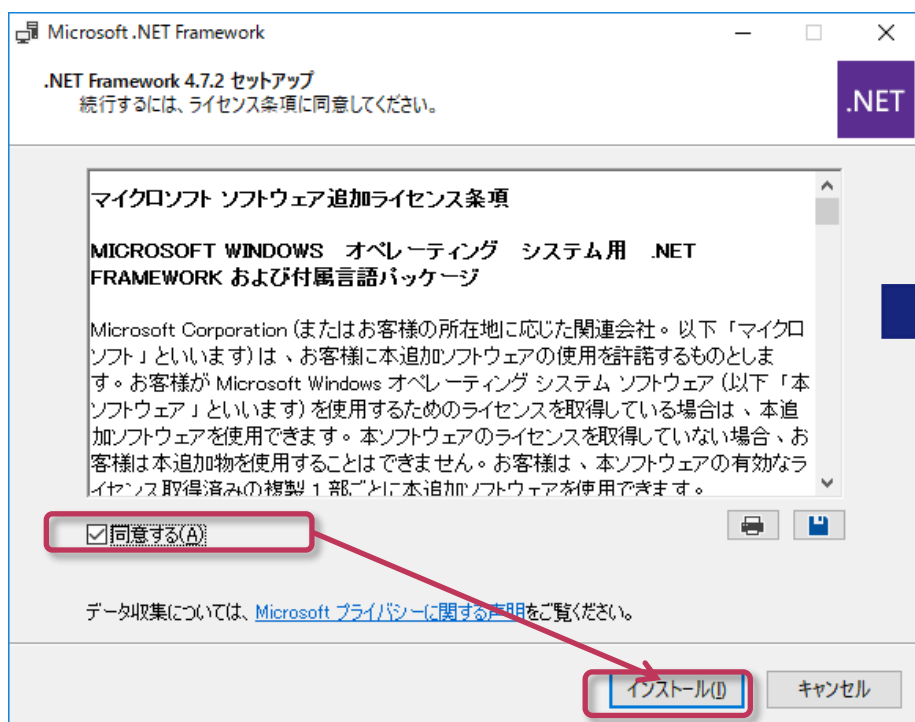


2.2. DPMサーバのインストール

◆ 管理サーバにDPMサーバをインストール（2）

.Net Frameworkをインストールします。

- 「.NET Framework 4.7.2 セットアップ」画面が表示されますので、ライセンス条項を確認後、「同意する」にチェックを入れて、「インストール」をクリックします。
- インストールが完了すると、インストール完了確認画面が表示されますので、「完了」をクリックします。

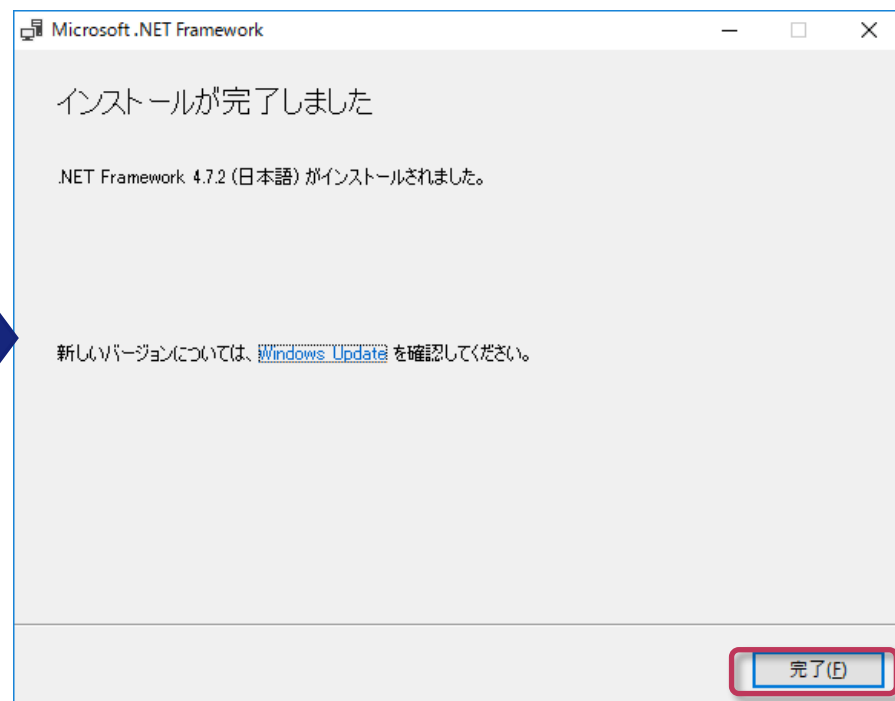
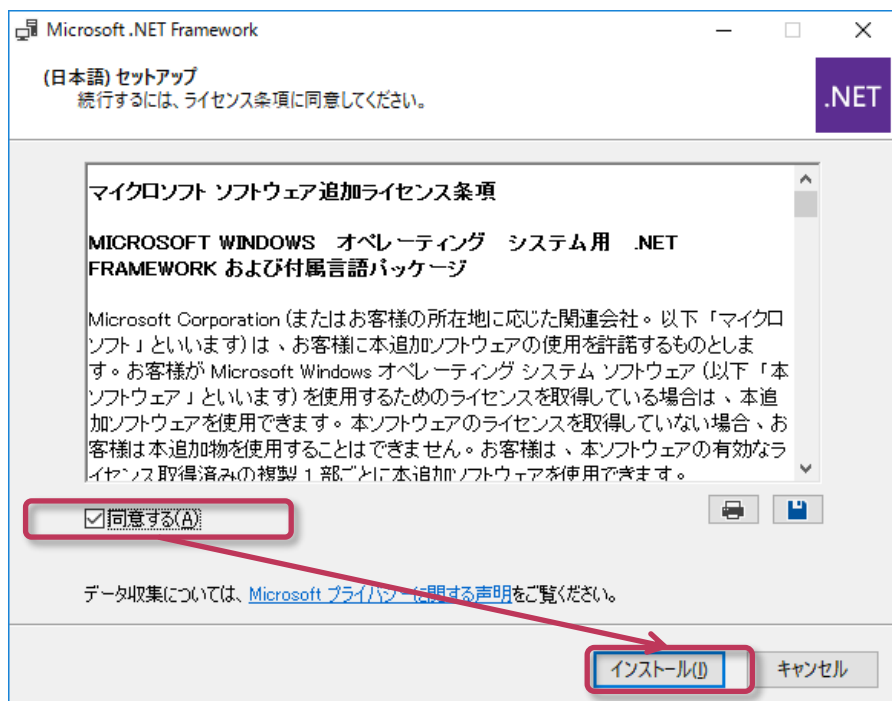


2.2. DPMサーバのインストール

◆ 管理サーバにDPMサーバをインストール（3）

.NET Framework 4.7.2の日本語 Language Packをインストールします。

- 「日本語 Language Pack セットアップ」画面が表示されますので、ライセンス条項を確認後、「同意する」にチェックを入れて、「インストール」をクリックします。
- インストールが完了すると、インストール完了確認画面が表示されますので、「完了」をクリックします。

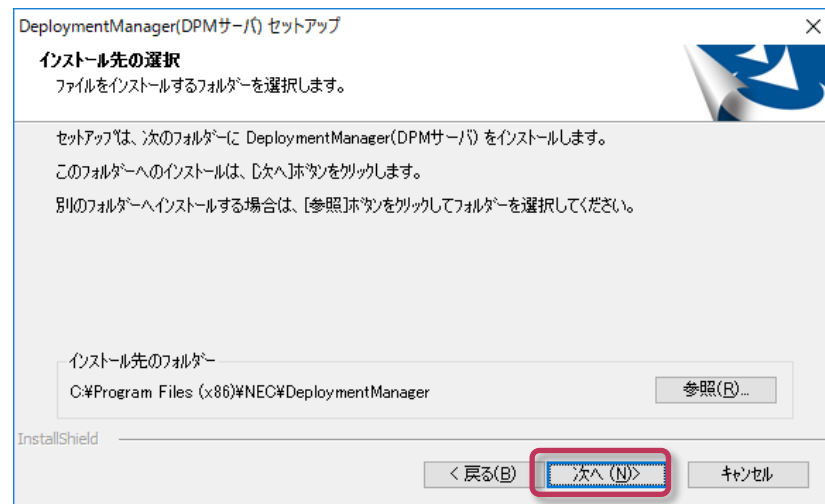
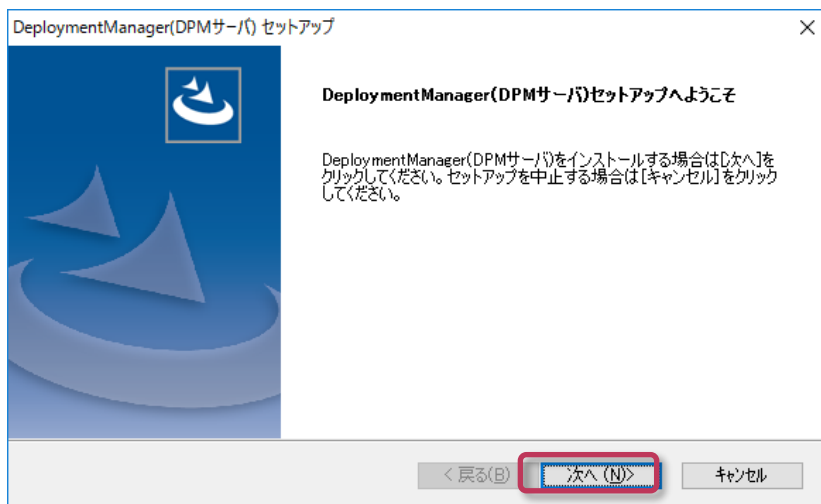


2.2. DPMサーバのインストール

◆ 管理サーバにDPMサーバをインストール（4）

DeploymentManager(DPMサーバ)をインストールします。

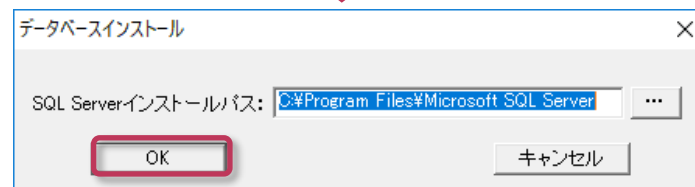
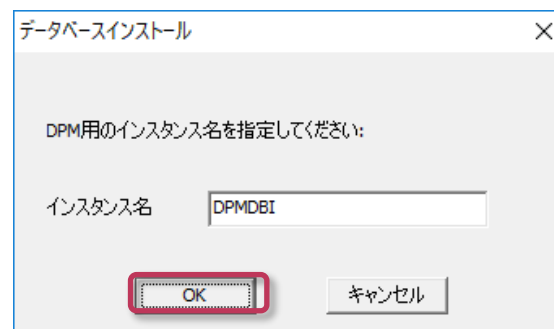
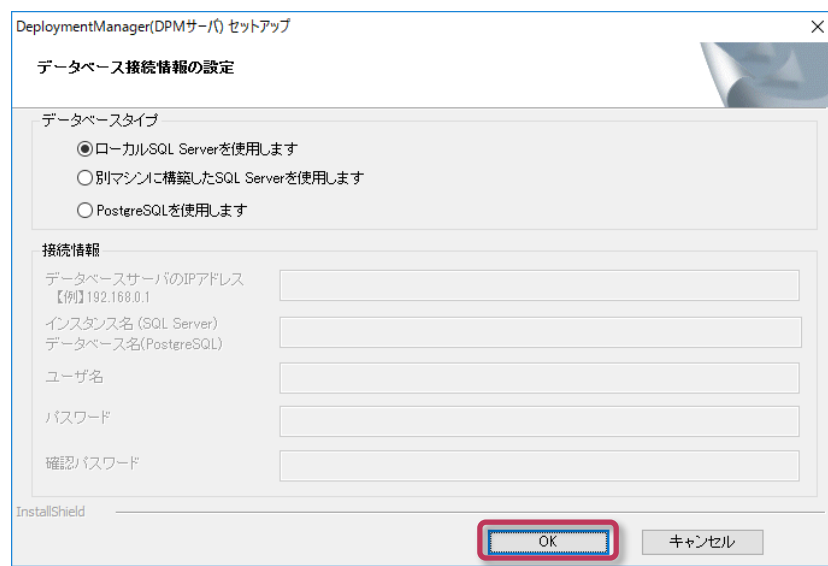
- 「DeploymentManager(DPMサーバ) セットアップ」ウィザードが開始されますので、「次へ」をクリックします。
- 「インストール先の選択」画面が表示されますので、インストール先のフォルダを指定して、「次へ」をクリックします。



2.2. DPMサーバのインストール

◆ 管理サーバにDPMサーバをインストール（5）

- 「データベースの接続情報の設定」画面が表示されますので、そのまま「OK」をクリックします。
- 「データベースインストール」画面が表示されますので、そのまま「OK」をクリックします。
- 続いて「データベースインストール」画面が表示されますので、そのまま「OK」をクリックします。



2.2. DPMサーバのインストール

◆ 管理サーバにDPMサーバをインストール（6）

- 「詳細設定」画面が表示されますので、そのまま「OK」をクリックします。
- 「共有フォルダの情報設定」の画面が表示されますので、「共有フォルダを作成する」のチェックをオンにして、その他の項目はそのまま「OK」をクリックします。

詳細設定

全般 | シナリオ | ネットワーク | DHCPサーバ | TFTPサーバ

ライセンス情報

ライセンス数

サーバ情報

コンピュータ名

IPアドレス

サブネットマスク

サーバ設定

シナリオの完了をDPMクライアントからの通信で判断する

DPMクライアントを自動アップグレードする

イメージ設定

バックアップイメージ格納用フォルダ 参照(A)

イメージ格納用フォルダ 参照(B)

OK

DeploymentManager(DPMサーバ) セットアップ

共有フォルダの情報設定

共有フォルダの情報

共有フォルダを作成する

ビジネスPCを管理する場合は設定が必要です。

共有フォルダ名

dpmsareuserユーザのアカウントは自動的に作成されます。
パスワードも自動生成されますが、指定することも可能です。
(その他のユーザ名に変更する場合、あらかじめアカウントの作成が必要です)

ユーザ名

パスワード

パスワード(確認)

InstallShield

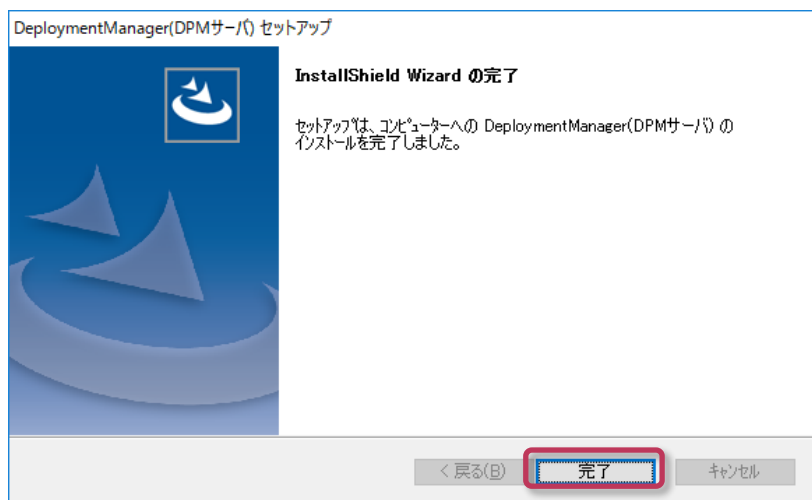
OK

2.2. DPMサーバのインストール

◆ 管理サーバにDPMサーバをインストール（7）

- 最後に、「InstallShield Wizardの完了」画面が表示されますので、「完了」をクリックします。

以上で、.NET Framework、DeploymentManager(DPMサーバ)のインストールは完了です。



2.3. ログイン、初期設定

DPMにログインして、初期設定を行います。

◆ Webコンソールを起動してログイン

- 管理サーバ、または管理サーバと通信できるマシンでブラウザ(Microsoft Edge)を起動して、以下にアクセスします。

- `http://ホスト名/DPM/`

- ホストには、Web コンソールから接続する管理サーバのDNS名、またはIPアドレスを入力します。
- 大文字小文字の区別はありません。
- ブラウザのキャッシュの設定を無効にしてください。

- DPMのWebコンソールが起動しますので、ユーザ名、パスワードを入力して、「ログイン」をクリックします。インストール直後のデフォルトアカウントはadmin/adminです。

DeploymentManager ログイン

DeploymentManager

認証情報

ユーザ名 admin

パスワード admin

次回からユーザ名を入力を省略

ログイン

2.3. ログイン、初期設定

◆ お知らせダイアログボックス確認（1）

- ログイン完了後、「お知らせダイアログ」が表示されますので内容を確認します。
- ×ボタンをクリックして、「お知らせダイアログ」を閉じます。

The screenshot shows the Deployment Manager web interface. The top navigation bar includes the user 'admin (Administrator)' and options for 'アカウント' and 'ログアウト'. The main content area is divided into a left sidebar and a main panel. The sidebar shows a tree view under '運用' with 'リソース' selected. The main panel displays a 'リソース サマリ情報' table with columns for 'リソースの種類' and 'リソース数'. A '操作' menu is visible on the right, containing a '画面更新' button. A yellow dialog box with a red border and a close button (marked with a red 'X') is overlaid on the bottom right, containing the text: 'ライセンス登録のお願い' and '試用期間はあと30日です。'. The footer of the interface reads 'Copyright(C) NEC Corporation 2002-2013. Version: DeploymentManager 6.2-24107'.

| リソースの種類 | リソース数 |
|------------|-------|
| マシン | 0 |
| シナリオ実行中 | 0 |
| シナリオ実行エラー | 0 |
| シナリオ実行中断 | 0 |
| シナリオ | 8 |
| イメージ | 5 |
| HWイメージ | 0 |
| OSイメージ | 0 |
| パッケージ | 2 |
| バックアップイメージ | 3 |

2.3. ログイン、初期設定

◆ お知らせダイアログボックス確認（2）

- 続いて、「お知らせダイアログ」が表示されますので、内容を確認します。
- 「今後、このダイアログボックスを表示しない」に、チェックを入れます。

The screenshot shows the Deployment Manager web interface. The top navigation bar includes the user 'admin (Administrator)', 'アカウント', and 'ログアウト' buttons. The main content area is titled 'リソース' (Resources) and contains a table with the following data:

| リソースの種類 | リソース数 |
|------------|-------|
| マシン | 2 |
| シナリオ実行中 | 0 |
| シナリオ実行エラー | 1 |
| シナリオ実行中断 | 0 |
| シナリオ | 13 |
| イメージ | 5 |
| HWイメージ | 0 |
| OSイメージ | 0 |
| パッケージ | 3 |
| バックアップイメージ | 2 |

Overlaid on the bottom right is a yellow notification dialog box titled 'DeploymentManager'. It contains the following text:

以下の条件を全て満たす場合、「ファーストステップガイド」の「付録 管理対象マシンでRAIDをご利用のお客様へ」を確認してください。

- ・管理対象マシンのハードディスクをRAID構成で利用している。
- ・既存のバックアップイメージ、ディスク複製用マスタイメージを使用する。

At the bottom of the dialog, there is a checkbox labeled '今後、このダイアログボックスを表示しない。' (Do not display this dialog box in the future), which is currently unchecked.

2.3. ログイン、初期設定

◆ お知らせダイアログボックス確認 (3)

- 「お知らせダイアログ」の内容が変わりますので、内容を確認します。
- ×ボタンをクリックして、「お知らせダイアログ」を閉じます。

The screenshot shows the Deployment Manager web interface. The main window displays a table of resources and a dialog box with instructions. The dialog box has a close button (X) highlighted with a red box.

| リソースの種類 | リソース数 |
|------------|-------|
| マシン | 2 |
| シナリオ実行中 | 0 |
| シナリオ実行エラー | 1 |
| シナリオ実行中断 | 0 |
| シナリオ | 13 |
| イメージ | |
| HW-イメージ | |
| OS-イメージ | |
| パッケージ | |
| バックアップイメージ | |

DeploymentManager

新規に管理対象マシンを登録した場合、バックアップリストアシナリオを実行する前に、管理対象マシンに対応するDeploy-OSを正しく設定してください。

設定後はディスク構成チェックを実行し、バックアップリストアシナリオで指定したディスク番号に問題がないことを確認してください。

Deploy-OSの設定方法については「リファレンスガイド」の「管理対象マシン編集」の章を、ディスク構成チェックについては「リファレンスガイド」の「ディスク構成チェックツール」の章を参照ください。

今後、このダイアログボックスを表示しない。

2.3. ログイン、初期設定

◆ ライセンスキー登録

DPMを使用するために、ライセンスキーの登録が必要です。

- Webコンソールのタイトルバーの「管理」をクリックし、「管理」ビューに切り替えます。
- 「管理」ビューの「ライセンス」を選択して、「設定」メニューの「ライセンスキー追加」をクリックします。
- 「ライセンスキー追加」画面が表示されますので、ライセンスキーを入力して「OK」をクリックすると、入力したライセンスキー情報が登録されます。複数ライセンスキーを登録する場合は、ライセンスキーの数だけ繰り返し行ってください。

The image shows two screenshots of the Deployment Manager web console. The top screenshot shows the main navigation menu with '管理' (Management) highlighted. A red box labeled '管理' points to this menu item. Below it, the 'ライセンス' (Licenses) menu item is highlighted with a red box labeled 'ライセンス'. A red arrow points from 'ライセンス' to the 'ライセンスキー追加' (Add License Key) option in the '設定' (Settings) dropdown menu, which is also highlighted with a red box labeled 'ライセンスキー追加'. A blue arrow points from this menu item to the bottom screenshot. The bottom screenshot shows the 'ライセンスキー追加' (Add License Key) form, which includes a text input field for the license key and 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

| ライセンス情報 | |
|---------|----|
| ライセンス合計 | 10 |
| 使用済 | 3 |
| 残り | 7 |

2.3. ログイン、初期設定

◆ ユーザ追加（1）

デフォルトのユーザを使い続けるのは危険なため、デフォルトのユーザを削除し、新規のシステム管理者(Administrator権限)のユーザを追加します。

- 「管理」ビューから「ユーザ」を選択して、「設定」メニューの「ユーザ追加」をクリックします。

The screenshot shows the Deployment Manager web interface. The top navigation bar includes 'admin (Administrator)', 'アカウント', and 'ログアウト'. The main menu has '運用', '監視', and '管理'. The '管理' menu is expanded to show 'ユーザ'. The 'ユーザ' sub-menu is also expanded to show 'ユーザ追加'. A table of users is displayed below the menu, with columns for 'ユーザ名', '権限', '説明', and '編集'. The table lists 'admin' (Administrator) and 'deployment_user' (Built-in User). The 'ユーザ追加' button is highlighted with a red box and a callout label.

| ユーザ名 | 権限 | 説明 | 編集 |
|-----------------|---------------|----|----|
| admin | Administrator | | |
| deployment_user | Built-in User | | |

Copyright(C) NEC Corporation 2002-2011. Version: DeploymentManager 6.0

2.3. ログイン、初期設定

◆ ユーザ追加（2）

「ユーザ追加」画面が表示されますので、以下の各項目を入力して、「OK」をクリックします。

- Administrator権限のユーザを追加します。
- ユーザ名欄とパスワード欄を記入して「OK」をクリックします。
 - 例として、ユーザ名を「sysadmin」、パスワードを「P@ssw0rd」で説明します。

The screenshot shows the 'Add User' form in the Deployment Manager interface. The form is titled 'ユーザ追加' (Add User) and is located under the '管理 > ユーザ > ユーザ追加' (Management > Users > Add User) path. The form fields are:

- ユーザ名 (Username): sysadmin
- 権限 (Role): Administrator
- パスワード (Password): P@ssw0rd
- パスワード(確認用) (Password Confirmation): P@ssw0rd
- 説明 (Description): (Empty)

The 'OK' button is highlighted with a red box, and a red arrow points from the 'パスワード(確認用)' field to it. The 'キャンセル' (Cancel) button is also visible.

Copyright(C) NEC Corporation 2002-2011. Version: DeploymentManager 6.0

2.3. ログイン、初期設定

◆ デフォルトユーザの削除

今後使用されないように、デフォルトユーザ(admin)を削除します。

- 「ユーザー一覧」から、デフォルトユーザ(admin)にチェックを入れて「ユーザ削除」をクリックします。
- ユーザ削除確認画面が表示されますので、「OK」をクリックします。



The screenshot shows the Deployment Manager web interface. The breadcrumb navigation is "管理 > ユーザ". The "ユーザー一覧" (User List) section shows a table with the following data:

| ユーザ名 | 権限 | 説明 | 編集 |
|---|---------------|----|----|
| <input checked="" type="checkbox"/> admin | Administrator | | |
| <input type="checkbox"/> deployme... | Built-in User | | |
| <input type="checkbox"/> sysadmin | Administrator | | |

The "admin" user's checkbox is checked. A red box highlights the "ユーザ削除" (Delete User) button in the top right corner of the table area. A red arrow points from this button to the "admin" user's row. The "admin" user's checkbox is also highlighted with a red box. The footer of the page reads "Copyright (C) NEC Corporation 2002-2012; Version: DeploymentManager 6.12-22400".



The screenshot shows a confirmation dialog box titled "Web ページからのメッセージ". The message text is "adminを削除してもよろしいですか?". There are two buttons at the bottom: "OK" and "キャンセル". The "OK" button is highlighted with a red box.

2.3. ログイン、初期設定

◆ ログアウト

新しく追加したAdministrator権限を持つユーザ(sysadmin)でログインしなおすために、いったんログアウトします。

- タイトルバーの「ログアウト」をクリックします。



2.3. ログイン、初期設定

◆ 新ユーザでログイン

新しく追加したユーザ(sysadmin)でログインします。

- 「DeploymentManagerログイン」画面で、ユーザ名「sysadmin」、パスワードを入力して、「ログイン」ボタンをクリックします。

DeploymentManager ログイン

DeploymentManager

認証情報

ユーザ名

パスワード

次回からユーザ名を入力を省略

ログイン

2.4. Windows PEイメージの作成・配置

キッティングの際に使用するWindows PEイメージを作成します。Windows PEイメージの作成のため、管理サーバに、Windows ADK、およびWindows PE アドオン(ADK用)をインストールします。

◆ Windows ADK、Windows PE アドオン(ADK用)のダウンロード

- 下記URLのページにアクセスします。

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/windows-hardware/get-started/adk-install>

- インストール対象のOSに対応するADKをダウンロードします。

今回はWindows 10のインストールを行うため、「Windows ADK for Windows 10 バージョン 2004」をクリックして、「adksetup.exe」をダウンロードします。

- 上記ADKに対応するWindows PE アドオン(ADK用)もダウンロードします。

今回はWindows 10のインストールを行うため、「ADK バージョン 2004 のWindows PE アドオン」をクリックして、「adkwipesetup.exe」をダウンロードします。

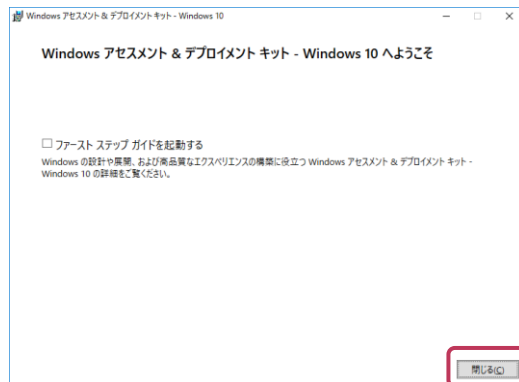
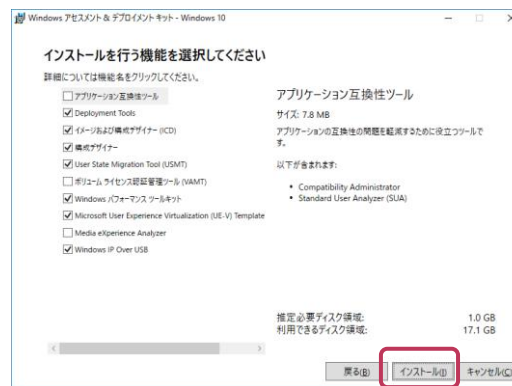
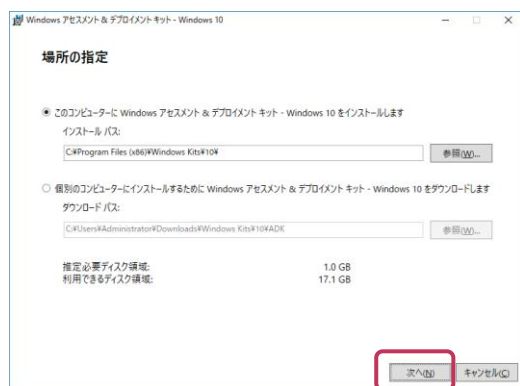
2.4. Windows PEイメージの作成・配置

◆ Windows ADKのインストール

- 管理サーバ上で、`adksetup.exe`を実行します。

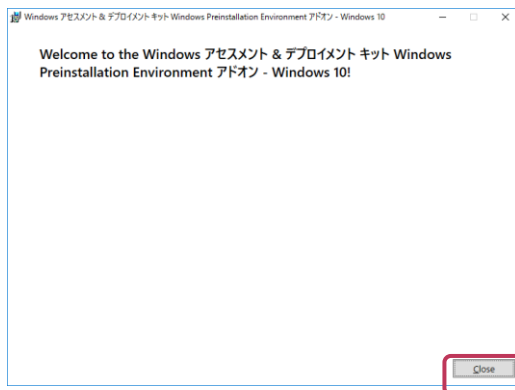
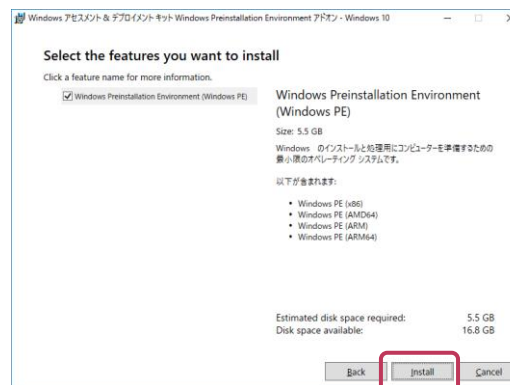
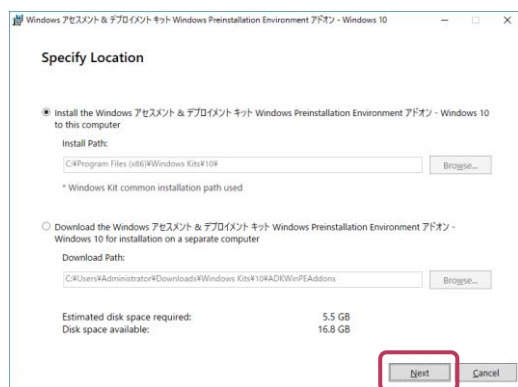
※インターネットに接続した環境で実行してください。

- 途中、インストール場所や機能の選択の画面が表示されますが、デフォルトの設定のまま進めます。



2.4. Windows PEイメージの作成・配置

- ◆ Windows PE アドオン(ADK用)のインストール
 - 管理サーバ上で、 `adkwipesetup.exe` を実行します。
※インターネットに接続した環境で実行してください。
 - 途中、インストール場所や機能の選択の画面が表示されますが、デフォルトの設定のまま進めます。



2.4. Windows PEイメージの作成・配置

- ◆ キット対象のPCのドライバを確認し、ダウンロード
キット対象のPCについて、作成するWindows PEイメージに含むためのドライバを確認し、管理サーバ上にダウンロードします。
- 本書では、キット対象のPCの機種はNECのビジネスPCで「2022年発表のMate/タイプMB」(PC-MJE34BZFC)として確認します。機種に応じて読み替えてください。
- 以下のビジネスPCの製品サイトにアクセスして、ドライバ情報のページを表示します。
[NECのビジネスPC Mate & VersaPro] <https://jpn.nec.com/products/bizpc/>
→[サポート情報(ダウンロード)]→[ドライバ・ソフトウェア]
 - 「ドライバ・ソフトウェア」のページより、「Windows 10 64ビット用（2015年10月以降に発表されたモデル）」の項に記載の「Mate」をクリックします。
 - 「Windows 10 64ビット用ドライバ(Mate,Mate J)」のページより、「2022年発表モデル」をクリックすると、ドライバ情報の表が表示されます。
- ドライバ情報に[有線LAN]、[AHCI・RAID]のドライバがある場合は、ドライバを入手する必要があります。
「2022年発表のMate/タイプMB」では、[有線LAN]が該当しますので、[有線LAN]のドライバのファイル「22q3_td_lan_91.zip」をダウンロードします。

■補足

- 上記の確認方法は、DeploymentManager製品サイトの対応装置一覧のページに記載されています。
<https://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/dousa2.html#anc-businesspc>
- 対応装置一覧のページの「ビジネスPCの対応装置」→「バックアップ/リストア」にリンクされているPDFファイルを確認してください。

2.4. Windows PEイメージの作成・配置

◆ キット対象のPCのドライバを配置

- 管理サーバ上に、新規に以下のフォルダを作成します。

C:¥NEC¥module¥drivers

- 前ページで入手したドライバの圧縮ファイルを展開します。

本書では、ファイル「22q3_td_lan_91.zip」を入手しましたので、本ファイルを展開します。

- 展開して作成されたファイル群を、上記で作成したフォルダC:¥NEC¥module¥drivers下にコピーします。

本書では、zipファイルを展開して作成された「LAN」フォルダ配下一式をコピーします。

2.4. Windows PEイメージの作成・配置

- ◆ Windows PEイメージ作成・配置ツール(WinPEBuildImage.bat)の実行
Windows PEイメージ作成・配置ツール(WinPEBuildImage.bat)を実行して、管理サーバにWindows PEイメージの作成、配置を実行します。
 - C:¥Program Files
(x86)¥NEC¥DeploymentManager¥DPMWinPE¥WinPEBuildImage¥WinPEBuildImage.bat
を管理者として実行します。
 - 下記の選択肢のうち、1を入力して、[Enter]を押します。

Windows PEイメージを作成後、DPMサーバに配置しますか？ 1~3を入力してください。

1 : Windows PEイメージ作成⇒DPMサーバ配置

2 : DPMサーバ配置のみ

3 : Windows PEイメージ作成のみ

(他の端末で作成したWindows PEイメージをDPMサーバに配置する場合は、2を選択)

[1-3] ? : 1

- 以下が表示されると、Windows PEイメージの作成と配置の処理が完了です。
※下記が表示されるまで、コマンドプロンプトを終了しないでください。
処理時間の目安は10~15分です。

Windows PEブートイメージの作成・配置を終了します。

3. マスタイメージ作成

3.1. マスタマシン構築、登録

マスタマシンを、キッティング対象のPCのベースイメージとして利用できるように手動で構築し、DPMに登録します。

◆ マスタマシンの構築

- マスタマシンにWindows 10のインストールを実施し、マスタマシンで業務が実施できるようにします。
- 必要に応じて、その他のアプリケーションのインストールも行います。
- **マスタマシンにDPMクライアントのインストールは不要です。**

3.1. マスタマシン構築、登録

◆ マスタマシンのネットワークブートの設定、再起動

作成したWindows PEイメージをネットワークブートするための設定を行います。

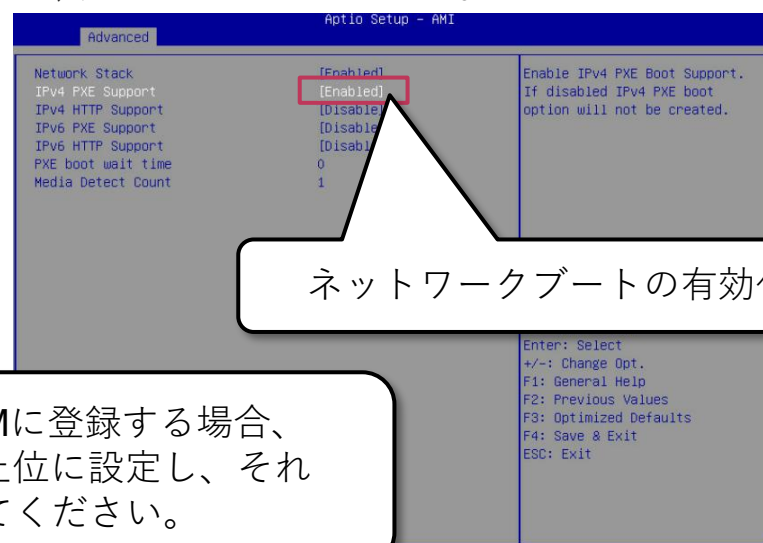
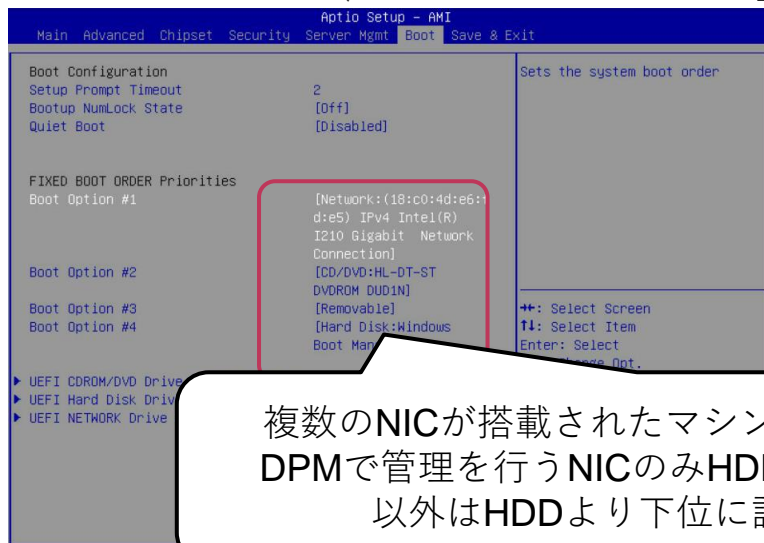
■ マスタマシンのPCの初回起動時にBIOS設定のツールを起動します。

- 本書で紹介するPC-MJE34BZFCでは、電源を入れた後すぐに[F2]を数回押します。

■ デバイスのブート順位の変更やネットワークブートの有効化を行い、DPMで管理するNICでネットワークブートを行うように変更します。

- MJE34/B-Cでは、「Startup」メニューで、「First Boot Device」を「Network」に設定します。次に、「Startup」メニューで、「First Network Device」を「Network 1」に設定します。
- MJE34/B-Cでは、「Devices」メニューにある「Network Setup」メニューで、「PXE IPV4 Network Stack」を「Enabled」に設定します。

■ 設定を保存して(PC-MJE34BZFCでは[F10]押下)、再起動を行います。



3.1. マスタマシン構築、登録

◆ マシングループ追加

マスタイメージを作成するために、マスタマシン(管理対象マシン)を登録します。
まず、マスタマシンの登録先となるマシングループを追加します。

- Webコンソール上でタイトルバーの「運用」をクリックし、「運用」ビューに切り替えます。
- 「運用」ビューから「マシン」を選択して、「設定」メニューの「グループ追加」をクリックします。
 - 「お知らせダイアログ」が表示される場合は、「今後、このダイアログボックスを表示しない」にチェックを入れて閉じてください。



3.1. マスタマシン構築、登録

◆ マシングループ追加

- 「グループ追加」画面が表示されますので、名前欄に任意のマシングループ名を入力して、「OK」をクリックします。
 - 例として、「group-01」というグループ名で説明します。

The screenshot shows the 'グループ追加' (Group Addition) screen in the Deployment Manager interface. The browser title is 'sys admin (Administrator) | アカウント | ログアウト'. The page title is 'リソース > マシン > グループ追加'. The left sidebar shows a tree view with '運用' (Operation) selected, containing 'リソース' (Resources), 'マシン(1)' (Machines), '新規マシン(1)' (New Machine), 'シナリオ(1)' (Scenario), and 'イメージ' (Image). The main content area is titled 'グループ追加' and contains the following fields:

- 名前 (Name):** A text input field containing 'group-01'. A red box highlights the input, and a red arrow points from this box to the 'OK' button.
- ネットワーク設定 (Network Settings):**
 - DPMサーバと同じサブネットワーク (DPM server and same subnet)
 - DPMサーバと別のサブネットワーク (DPM server and different subnet)
 - デフォルトゲートウェイ (Default gateway): []
 - サブネットマスク (Subnet mask): []
- 自動更新設定 (Automatic Update Settings):**
 - 自動更新機能 (Automatic update function): 起動時OFF (Start time OFF)
 - 自動更新時間 (Automatic update time): [] 0:00
 - 適用契機 (Trigger): 次回起動時に実行 (Execute at next start)
 - リトライ回数 (Retries): 1
 - リトライ間隔(分) (Retry interval): 5

At the bottom right, there are two buttons: 'OK' (highlighted with a red box) and 'キャンセル' (Cancel). The footer text is 'Copyright(C) NEC Corporation 2002-2012. Version: DeploymentManager 6.12-22400'.

3.1. マスタマシン構築、登録

◆ マシングループにマスタマシン登録（1）

追加したマシングループにマスタマシン(管理対象マシン)を登録します。

- マスタマシンの初回起動時のネットワークブートによりDPMサーバがマスタマシンを認識すると、「新規マシン」グループ配下に情報が作成されています。
 - 「新規マシン」グループが表示されていない場合は、しばらく待って「画面更新」をクリックしてください。
 - 上記を行っても「新規マシン」グループが表示されていない場合は、以下を試してください。
 - 管理サーバとマスタマシンが通信できるか(マスタマシンから管理サーバにpingが通るか確認する)
 - ファイアウォールでDPMの通信ポートがふさがれていないか確認する。
 - マスタマシンを再起動する。
- 「新規マシン一覧」上のマスタマシンのチェックボックスにチェックを入れて「マシン追加」をクリックします。
 - 新規マシンが複数ある場合は「MACアドレス」 / 「UUID」でマスタマシンを識別してください。
 - MACアドレスとUUIDの確認方法は「付録.PCのMACアドレス、UUID確認方法」を参照してください。



3.1. マスタマシン構築、登録

◆ マシングループにマスタマシン登録（2）

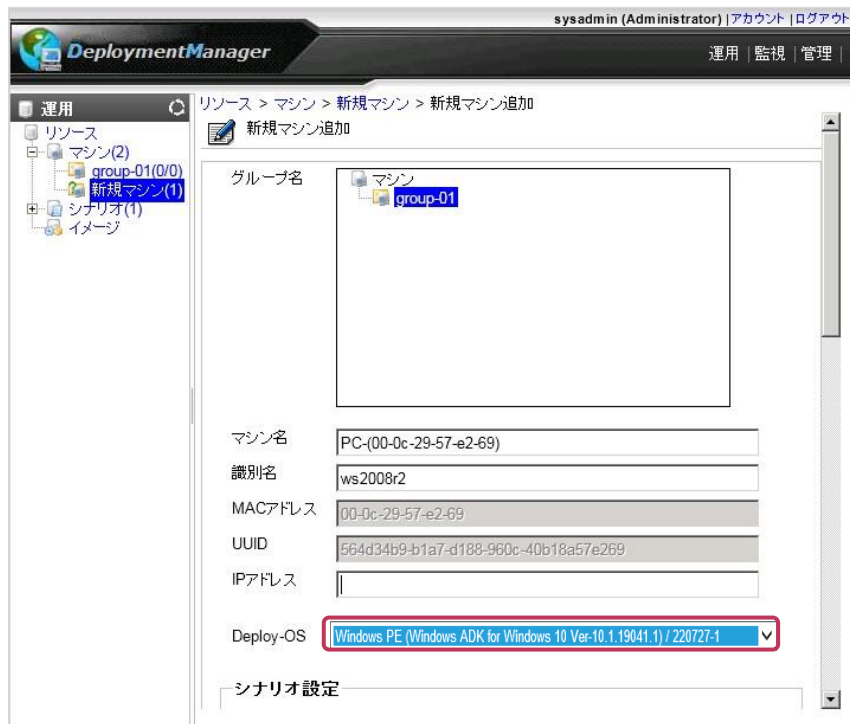
- 「新規マシン追加」画面が表示されますので、グループ名欄で「group-01」を選択します。
- マシン名はDPMにより自動設定されます。
- 識別名には、任意項目で、任意の名前を設定することができます。入力する場合は登録するマシン間でユニークな名前を設定してください。
 - 例として、「win10」という識別名で説明します。



3.1. マスタマシン構築、登録

◆ マシングループにマスタマシン登録（3）

- Deploy-OS欄では、「5. Windows PEイメージの作成・配置」で作成した「Windows PE …」を選択します。
- 下方にスクロールして、「OK」をクリックします。



3.1. マスタマシン構築、登録

◆ マシングループにマスタマシン登録（4）

- マシングループ「group-01」に、管理対象マシンとして、「win10」（識別名で表示）が登録されたことを確認します。

The screenshot shows the Deployment Manager web interface. The top navigation bar includes the user 'sysadmin (Administrator)' and options for 'アカウント' and 'ログアウト'. The main content area is titled 'リソース > マシン > group-01' and displays the 'グループ詳細' (Group Details) section. A table lists the '管理対象マシン一覧' (Managed Machine List) with columns for '名前' (Name), 'IPアド...' (IP Address), 'MACアド...' (MAC Address), '状態' (Status), '電源' (Power), and 'シナリオ名' (Scenario Name). The machine 'win10' is highlighted with a red box, and a callout points to its name. Below this is the 'サブグループ一覧' (Subgroup List) section. The right sidebar contains '設定' (Settings) and '操作' (Operations) panels.

| 名前 | IPアド... | MACアド... | 状態 | 電源 | シナリオ名 | 編集 |
|-------|---------|---------------|----|----|-------|----|
| win10 | | 00-0c-29-7... | | On | | |

3.2. シナリオグループを追加する

今後作成するDPMのシナリオの登録先となるシナリオグループを追加します。

◆ シナリオグループの追加（1）

- Webコンソールでタイトルバーの「運用」をクリックし、「運用」ビューに切り替えます。
- 「運用」ビューから「シナリオ」を選択して、「設定」メニューの「グループ追加」をクリックします。

The screenshot shows the Deployment Manager web console interface. The top navigation bar includes the user 'sysadmin (Administrator)' and links for 'アカウント' and 'ログアウト'. The main content area is titled '運用' (Operation) and displays a tree view of resources under 'シナリオ' (Scenarios). The 'Built-in Scenarios' group is selected, and its details are shown in a table below. The table has columns for '名前' (Name), 'サブグループ数(直下/配下)' (Subgroup count), 'シナリオ数(直下/配下)' (Scenario count), and '編集' (Edit). The 'Built-in Scenarios' row shows 0 subgroups and 8 scenarios. A red box highlights 'シナリオ(1)' in the left sidebar, and another red box highlights 'グループ追加' in the '設定' (Settings) menu. A red arrow points from the sidebar box to the menu box. A callout box on the right contains the text 'グループ追加'.

| 名前 | サブグループ数(直下/配下) | シナリオ数(直下/配下) | 編集 |
|--------------------|----------------|--------------|----|
| Built-in Scenarios | 0/0 | 8/8 | |

3.2. シナリオグループを追加する

◆ シナリオグループの追加（2）

- 「シナリオグループ追加」画面が表示されますので、名前欄に任意のシナリオグループ名を入力して、「OK」をクリックします。
 - 例として「ScenarioGroup-01」という名前で説明します。



3.3. マスタマシンのディスク構成のチェック

ディスク構成チェックシナリオを実行して、今後実行するバックアップ・リストアの対象ディスクのディスク番号情報を確認します。

◆ ディスク構成チェックシナリオの割り当て・実行（1）

- 「運用」ビューから、マシングループ「group-01」を選択して、「管理対象マシン一覧」上の「win10」にチェックを入れます。
- 操作プルダウンボックスから「シナリオ割り当て」を選択します。

The screenshot shows the Deployment Manager interface. The left sidebar shows a tree view with 'group-01(1/1)' selected. The main area displays a table of '管理対象マシン一覧' (Managed Machine List) with columns for '名前' (Name), 'IPアドレス' (IP Address), 'MACアドレス' (MAC Address), '状態' (Status), and '電源' (Power). The 'win10' machine is checked. A context menu is open over the 'win10' machine, with 'シナリオ割り当て' (Assign Scenario) highlighted. A red box and arrow point to this menu item. Another red box and arrow point to the 'group-01' label in the sidebar. A third red box and arrow point to the 'win10' label in the table. The right sidebar shows a '設定' (Settings) panel with various options like 'グループ編集' (Edit Group) and 'シナリオ割り当て' (Assign Scenario).

| 名前 | IPアドレス | MACアドレス | 状態 | 電源 |
|-------|--------|-------------------|----|----|
| win10 | | 00-0c-29-57-e2... | | On |

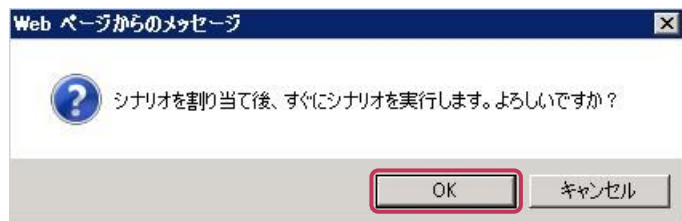
3.3. マスタマシンのディスク構成のチェック

- ◆ ディスク構成チェックシナリオの割り当て・実行（2）
 - 「シナリオ割り当て」画面が表示されますので、「参照」をクリックすると、「シナリオ選択」画面が表示されますので、「Built-in Scenarios」配下の「System_DiskProbe」を選択して「OK」をクリックします。
 - 「シナリオ割り当て」画面の「すぐに実行」をクリックします。



3.3. マスタマシンのディスク構成のチェック

- ◆ ディスク構成チェックシナリオの割り当て・実行（3）
 - 確認画面が表示されますので、「OK」をクリックします。



3.3. マスタマシンのディスク構成のチェック

◆ ディスク構成チェックシナリオの割り当て・実行（4）

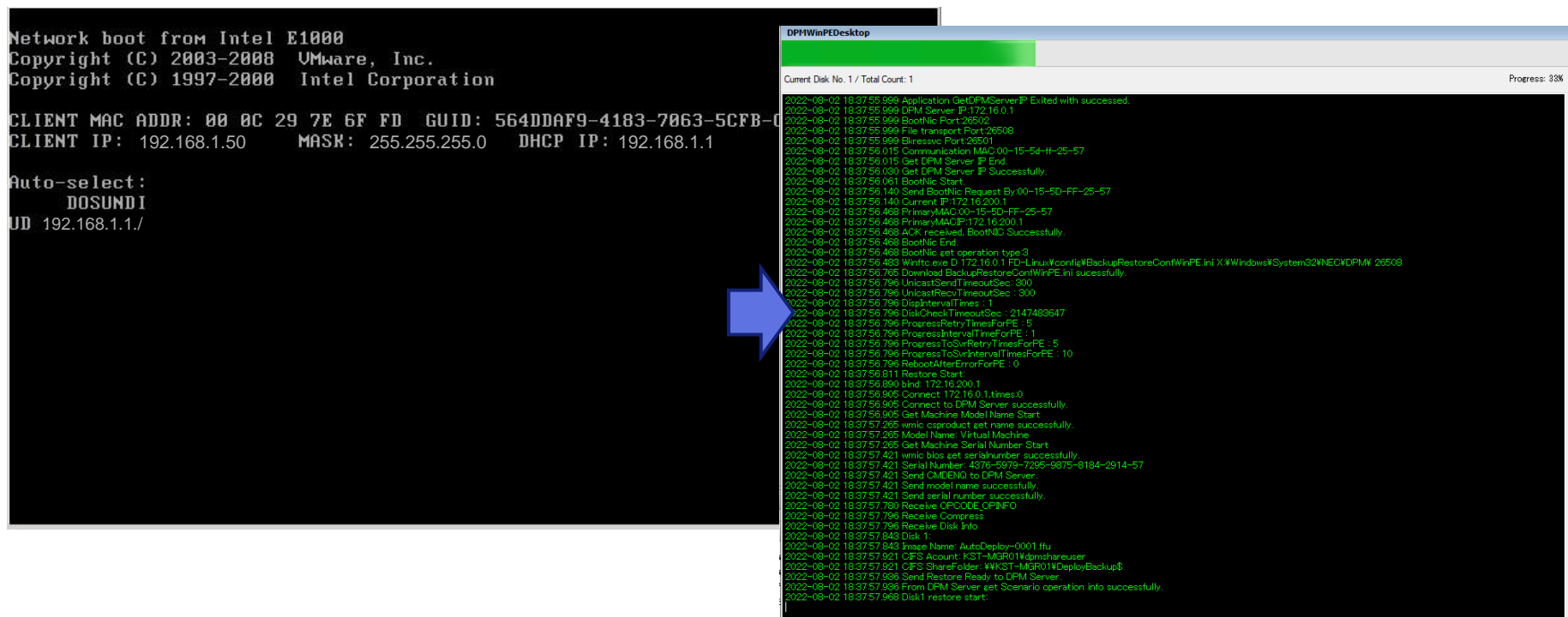
ディスク構成チェックシナリオが実行されます。

■ シナリオ実行後、手動で、マスタマシンの起動・再起動を行ってください。

- マシンが起動している場合は、手動でOS再起動してください。
- マシンの電源がOFFの場合は、手動で電源を入れてください。

■ マスタマシンの画面でディスク構成チェックの実行を確認できます。

- ネットワークブートにより、Deploy-OSが配信され、ディスク構成チェックが実行されます。



```
Network boot from Intel E1000
Copyright (C) 2003-2008 VMware, Inc.
Copyright (C) 1997-2000 Intel Corporation

CLIENT MAC ADDR: 00 0C 29 7E 6F FD  GUID: 564DDAF9-4183-7063-5CFB-0
CLIENT IP: 192.168.1.50  MASK: 255.255.255.0  DHCP IP: 192.168.1.1

Auto-select:
  DOSUNDI
UD 192.168.1.1/

DPMWinPEDesktop
Current Disk No. 1 / Total Count: 1
Progress: 93%

2022-08-02 18:37:55.999 Application GetDPM/Server IP Exited with succeeded.
2022-08-02 18:37:55.999 DPM Server IP:172.16.0.1
2022-08-02 18:37:55.999 BootNIC Port:26502
2022-08-02 18:37:55.999 File transport Port:26508
2022-08-02 18:37:55.999 Broadcast Port:26511
2022-08-02 18:37:56.015 Communication MAC:00-15-5d-ff-25-57
2022-08-02 18:37:56.015 Get DPM Server IP End.
2022-08-02 18:37:56.030 Get DPM Server IP Successfully.
2022-08-02 18:37:56.061 BootNIC Start.
2022-08-02 18:37:56.140 Send BootNIC Request By:00-15-5d-ff-25-57
2022-08-02 18:37:56.140 Current IP:172.16.200.1
2022-08-02 18:37:56.468 PrimaryMAC:00-15-5d-ff-25-57
2022-08-02 18:37:56.468 PrimaryMAC:IP:172.16.200.1
2022-08-02 18:37:56.468 ACK received, BootNIC Successfully.
2022-08-02 18:37:56.468 BootNIC End.
2022-08-02 18:37:56.483 BootNIC get operation type:3
2022-08-02 18:37:56.483 Write.exe D:172.16.0.1 FD-Linux\contlic\BackupRestoreConf\WinPE.ini X:\Windows\System32\NEC\DPMV 26508
2022-08-02 18:37:56.765 Download BackupRestoreConf\WinPE.ini successfully.
2022-08-02 18:37:56.796 UnicastSendTimeoutSec: 300
2022-08-02 18:37:56.796 UnicastRecvTimeoutSec: 300
2022-08-02 18:37:56.796 DispIntervalTimes: 1
2022-08-02 18:37:56.796 DiskCheckTimeoutSec: 2147483647
2022-08-02 18:37:56.796 ProgressRetryTimesForPE: 5
2022-08-02 18:37:56.796 ProgressIntervalTimesForPE: 1
2022-08-02 18:37:56.796 ProgressToSvrRetryTimesForPE: 5
2022-08-02 18:37:56.796 ProgressToSvrIntervalTimesForPE: 10
2022-08-02 18:37:56.796 RebootAfterErrorForPE: 0
2022-08-02 18:37:56.811 Restore Start.
2022-08-02 18:37:56.890 bind: 172.16.200.1
2022-08-02 18:37:56.905 Connect: 172.16.0.1, times: 0
2022-08-02 18:37:56.905 Connect to DPM Server successfully.
2022-08-02 18:37:56.905 Get Machine Model Name Start.
2022-08-02 18:37:57.265 wmic csproduct get name successfully.
2022-08-02 18:37:57.265 Model Name: Virtual Machine
2022-08-02 18:37:57.265 Get Machine Serial Number Start.
2022-08-02 18:37:57.421 wmic bios get serialnumber successfully.
2022-08-02 18:37:57.421 Serial Number: 4376-5979-7295-9875-8184-2914-57
2022-08-02 18:37:57.421 Send CMDENQ to DPM Server.
2022-08-02 18:37:57.421 Send model name successfully.
2022-08-02 18:37:57.421 Send serial number successfully.
2022-08-02 18:37:57.780 Receive OPCODE_OPNFO
2022-08-02 18:37:57.796 Receive Compress
2022-08-02 18:37:57.796 Receive Disk Info
2022-08-02 18:37:57.843 Disk: 1
2022-08-02 18:37:57.843 Image Name: AutoDeploy-0001.tfu
2022-08-02 18:37:57.921 CFS Account: KST-MGR01\domshareuser
2022-08-02 18:37:57.921 CFS Share folder: \\KST-MGR01\DeployBackup$
2022-08-02 18:37:57.936 Send Restore Ready to DPM Server.
2022-08-02 18:37:57.936 From DPM Server get Scenario operation info successfully.
2022-08-02 18:37:57.968 Disk:1 restore start.
```

3.3. マスタマシンのディスク構成のチェック

◆ ディスク構成チェック結果の確認（1）

ディスク構成チェック結果を確認します。

- Webコンソール上で、タイトルバーの「運用」をクリックして、「運用」ビューに切り替えます。
- 「運用」ビューから、マシングループの「group-01」を選択して、「管理対象マシン一覧」上の「win10」をクリックします。

The screenshot shows the Deployment Manager web console interface. The top navigation bar includes the title 'Deployment Manager' and the user 'admin (Administrator)'. The main content area is divided into several sections:

- Left Sidebar:** A tree view showing the hierarchy: 'group-01' > 'マシン(1)' > 'group-01(1/1)'. The 'group-01(1/1)' item is highlighted with a red box.
- Main Content Area:**
 - Header:** 'リソース > マシン > group-01' and 'グループ詳細'.
 - Management Object Machine List:** A table with columns: '名前', 'IPアド...', 'MACアドレス', '状態', '電源', 'シナリオ名', and '編集'. The first row is 'win10' with a red box around the name and a callout box pointing to it.
 - Subgroups:** A section below the table with a '表示件数' dropdown set to 20 and a 'グループ削除' button.
- Right Panel:** A '設定' (Settings) menu with options like 'グループ編集', 'グループ削除', 'サブグループ追加', 'マシン追加', '一括設定', and '一括操作'.

Red arrows indicate the navigation path: from the '運用' button in the top right, to the 'group-01(1/1)' item in the sidebar, and finally to the 'win10' machine in the main table.

3.3. マスタマシンのディスク構成のチェック

◆ ディスク構成チェック結果の確認（2）

- 「管理対象マシン詳細」画面が表示されますので、「ディスク情報」の「詳細」をクリックします。

The screenshot shows the Deployment Manager web interface. The breadcrumb navigation is 'リソース > マシン > group-01 > win10'. The main content area is titled '管理対象マシン詳細' (Management Target Machine Details) and contains a table of machine properties. The 'ディスク情報' (Disk Information) row is highlighted, and the '詳細' (Details) link is circled in red. The right sidebar contains '設定' (Settings) and '操作' (Operations) sections.

| 管理対象マシン詳細 | |
|-----------------|--------------------------------------|
| マシン名 | test |
| 識別名 | win10 |
| グループ | group-01 |
| UUID | 564d3043-e267-41f9-2eae-6576e499d159 |
| IPアドレス | |
| IPv6アドレス | fe80::99d7:8998:1be1:62a5 |
| MACアドレス | 00-0c-29-99-d1-59(*) |
| Deploy-OS | デフォルト値を使用 |
| 状態 | |
| 電源 | On |
| オペレーティングシステム | Microsoft Windows 10 Pro x64 |
| サービスパック | |
| OS言語 | Japanese (Japan) |
| HotFix/アプリケーション | 詳細 |
| パッケージ適用状況 | 詳細 |
| ディスク情報 | 詳細 |
| シナリオ割り当て | |
| シナリオ名 | System_DiskProbe |
| シナリオ実行管理スケジュール | |
| スケジュール | |
| 電源管理スケジュール | |

設定

- マシン編集
- マシン移動
- マシン削除

操作

- 電源ON
- シャットダウン
- 電源管理スケジュール
- シナリオ割り当て解除
- シナリオ実行
- シナリオ実行中断
- エラー解除
- 中断解除
- ファイル/フォルダ詳細
- ファイル配信
- 画面更新

3.3. マスタマシンのディスク構成のチェック

◆ ディスク構成チェック結果の確認（3）

- 「ディスク詳細」、「ディスク一覧」にマスタマシン「win10」の情報が表示されます。
- 表示されるディスクの情報を確認して、マスタマシンのOSがインストールされているディスクのディスク番号を確認してください。
※パーティションの情報は、使用しないため確認不要です。
- 本書の下記例では、PCにディスクが一つのみ搭載されていることが確認できます。ディスク番号は1のため、今後のディスク番号の指定では1を指定します。

The screenshot shows the Deployment Manager interface. The breadcrumb path is 'リソース > マシン > win10 > ディスクビューア'. The machine name is 'win10'. The 'ディスク詳細' (Disk Details) section shows a table of partitions:

| ディスク | パーティション情報 |
|------------------|------------------|
| ディスク1 | パーティション1 |
| ベーシック 40.00GB | NTFS 100.00MB |
| | パーティション2 |
| | NTFS 39.90GB |

The 'ディスク一覧' (Disk Overview) section shows a table of disks:

| ディスク | 種類 | 容量 |
|-------|-------|---------|
| ディスク1 | ベーシック | 40.00GB |

Red boxes highlight the 'パーティション情報' table and the 'ディスク一覧' table. A '操作' (Operations) menu is visible on the right, including options like 'ディスク一覧', 'パーティション一覧', '隠しパーティションを表示', '隠しパーティションを非表示', and '画面更新'.

3.4. マスタマシンのバックアップ(復旧用)

マスタイメージ作成時に、マスタマシンの個性を削除する必要がありますが、マスタイメージ作成後に復旧できるように、現時点のマスタマシンのバックアップを行います。

◆ バックアップシナリオの作成 (1)

- ディスク構成チェックで確認したディスク番号の情報を使用します。
- 運用ビューから、シナリオグループの「Built-in Scenarios」を選択して、「System_Backup」をチェックして「シナリオコピー」をクリックします。

The screenshot shows the Deployment Manager web interface. The left sidebar shows a tree view with 'Built-in Scenarios(8/8)' selected. The main content area displays a table of scenarios. The 'System_Backup' scenario is checked. The 'シナリオコピー' button is highlighted with a red box and a red arrow pointing to it.

| シナリオ名 | 種類 | 編集 |
|---|------------|----|
| <input type="checkbox"/> System_AgentUpgrade_Mul... | パッケージ | |
| <input checked="" type="checkbox"/> System_Backup | バックアップ | |
| <input type="checkbox"/> System_DiskProbe | ディスク構成チェック | |
| <input type="checkbox"/> System_LinuxAgentUpgrad... | パッケージ | |
| <input type="checkbox"/> System_LinuxMasterSetup | パッケージ | |
| <input type="checkbox"/> System_Restore_Unicast | リストア | |
| <input type="checkbox"/> System_WindowsMasterSe... | パッケージ | |
| <input type="checkbox"/> System_WindowsMasterSe... | パッケージ | |

3.4. マスタマシンのバックアップ(復旧用)

◆ バックアップシナリオの作成 (2)

- 「シナリオコピー」画面が表示されますので、シナリオ名欄に任意のシナリオ名を入力します。
 - 例として、ディスク番号1番のバックアップを行う場合、「System_Backup_win10」というシナリオ名で説明します。
- 「バックアップ/リストア」タブに切り替えて、イメージファイル名を入力します。
 - 例として「C:¥DeployBackup¥backup_win10.lbr」というイメージファイル名で説明します。
- ディスク番号欄に「1」と記入されていることを確認します。

The screenshot shows the Deployment Manager web interface. The breadcrumb navigation is 'リソース > シナリオ > Built-in Scenarios > シナリオコピー'. The scenario name is 'System_Backup_win10'. The 'バックアップ/リストア' tab is selected. The 'バックアップ/リストアを実行する' section has 'バックアップ' selected. The image file name is 'C:\DeployBackup\backup_win10.lbr'. The 'ディスク構成チェック' section has 'リストア' selected. The '備考' field is empty. Red boxes and arrows highlight the scenario name, the 'バックアップ/リストア' tab, the image file name, and the 'リストア' radio button. A callout box shows the full path 'C:¥DeployBackup¥backup_win10.lbr'.

3.4. マスタマシンのバックアップ(復旧用)

◆ バックアップシナリオの作成 (3)

- 下方にスクロールして、ディスク情報欄にバックアップしたいディスクの情報を入力します。
- 今回の例では、ディスク番号欄に「1」が設定されていることを確認します。



The screenshot shows the Deployment Manager web interface. The breadcrumb navigation is "リソース > シナリオ > Built-in Scenarios > シナリオコピー". The left sidebar shows a tree view with "Built-in Scenarios(18/18)" selected. The main content area is titled "バックアップ/リストア対象" and includes a checkbox for "隠しパーティションを無視する" which is checked. Below this is the "ディスク情報" section, which contains a "ディスク一覧" table. The table has columns for "ディスク番号", "パーティション番号", "処理方式", and "編集". The first row shows "1" in the "ディスク番号" column, "a-v" in the "パーティション番号" column, and "有効セクタ" in the "処理方式" column. The "1" is highlighted with a red box.

| ディスク番号 | パーティション番号 | 処理方式 | 編集 |
|--------|-----------|-------|--|
| 1 | a-v | 有効セクタ |  |

3.4. マスタマシンのバックアップ(復旧用)

◆ バックアップシナリオの作成 (4)

- 下方にスクロールして、「コピー先」欄で「ScenarioGroup-01」を選択して、「OK」をクリックします。



3.4. マスタマシンのバックアップ(復旧用)

◆ バックアップシナリオの割り当て/実行 (1)

作成したバックアップシナリオ(復旧用)を、マスタマシン(管理対象マシン)に割り当て/実行します。

- 「運用」ビューから、マシングループの「group-01」を選択して、「管理対象マシン一覧」上の「win10」にチェックを入れます。
- 操作プルダウンボックスから「シナリオ割り当て」を選択します。

The screenshot shows the Deployment Manager web interface. The breadcrumb path is "リソース > マシン > group-01". The "group-01" folder in the left sidebar is selected. The "管理対象マシン一覧" (Managed Machine List) table shows a machine named "win10" with a checked checkbox in the first column. The context menu for this machine is open, and the "シナリオ割り当て" (Assign Scenario) option is highlighted. A red box and arrow point to the "win10" machine, and another red box and arrow point to the "シナリオ割り当て" menu item. A red callout box with the text "シナリオ割り当て" is positioned over the menu item.

| 名前 | IPアドレス | MACアドレス | 状態 | 電源 |
|---|--------|------------------|----|--------|
| <input checked="" type="checkbox"/> win10 | | 00-0c-29-57-e... | | On Sys |

Copyright(C) NEC Corporation 2002-2013. Version: DeploymentManager 6.2-24107

3.4. マスタマシンのバックアップ(復旧用)

◆ バックアップシナリオの割り当て/実行 (2)

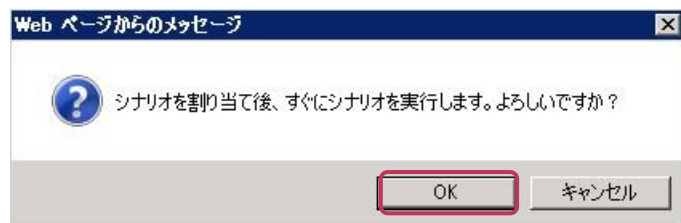
- 「シナリオ割り当て」画面が表示されますので、「参照」をクリックします。
- 「シナリオ選択」画面が表示されますので「ScenarioGroup-01」配下の「System_Backup_win10」を選択して「OK」をクリックします。
- 「シナリオ割り当て」画面の「すぐに実行」をクリックします。



3.4. マスタマシンのバックアップ(復旧用)

◆ バックアップシナリオの割り当て/実行 (3)

- 確認画面が表示されますので、「OK」をクリックします。



- シナリオ実行後、手動で、マスタマシンの起動・再起動を行ってください。
 - マシンが起動している場合は、手動でOS再起動してください。
 - マシンの電源がOFFの場合は、手動で電源を入れてください。

3.4. マスタマシンのバックアップ(復旧用)

◆ バックアップの進捗状況確認 (1)

Webコンソール画面からバックアップの進捗状況を確認できます。

- バックアップを実行しているマシンの「シナリオ実行中」をクリックすることでバックアップの進捗状況を確認できます。

The screenshot displays the Deployment Manager web interface. The top navigation bar shows 'sysadmin (Administrator) | アカウント | ログアウト' and '運用 | 監視 | 管理'. The main content area is divided into several sections:

- Left Panel:** A tree view under '運用' showing 'リソース > マシン > group-01' selected. A red box highlights 'group-01(2/2)'.
- Group Details:** 'グループ詳細' section with '管理対象マシン一覧' table. The table has columns: 名前, IPアド..., MACアド..., 状態, 電源, シナリオ名, 編集. The 'win10' row has '状態' set to 'シナリオ実行中' (highlighted with a red box).
- Subgroup List:** 'サブグループ一覧' section with a table showing '名前'.
- Scenario Execution Monitor:** '監視 > シナリオ実行一覧' section with 'シナリオ実行一覧' table. The table has columns: マシン名, IPアドレス, MACアド..., グループ..., シナリオ..., 状態, 実行状況, 詳細. The 'win10' row shows '状態' as 'バック...' and '実行状況' as '5%'.

Red and blue arrows indicate the navigation path from the group details to the scenario execution monitor. A 'win10' label points to the machine name in the scenario execution table.

3.4. マスタマシンのバックアップ(復旧用)

◆ バックアップの進捗状況確認 (2)

- マスタマシンの画面ではバックアップの進捗状況が確認できます。
 - バックアップ時間は、環境により異なります。

```
Network boot from Intel E1000
Copyright (C) 2003-2008 VMware, Inc.
Copyright (C) 1997-2008 Intel Corporation

CLIENT MAC ADDR: 00 0C 29 7E 6F FD GUID: 564DDAF9-4183-7063-5CFB-CA6A5F7E
CLIENT IP: 192.168.1.50 MASK: 255.255.255.0 DHCP IP: 192.168.1.1

Auto-select:
  DOSUNDI
  UD 192.168.1.1/
```



```
DPHWinPEDesktop
Current Disk No. 1 / Total Count: 1
Progress: 33%

2022-08-02 18:37:55.999 Application GetDPMServerIP Exited with succeeded.
2022-08-02 18:37:55.999 DPM Server IP: 172.16.0.1
2022-08-02 18:37:55.999 BootNic Port: 26502
2022-08-02 18:37:55.999 File transport Port: 26508
2022-08-02 18:37:55.999 Bypass Port: 26501
2022-08-02 18:37:56.015 Communication MAC: 00-15-5d-ff-25-57
2022-08-02 18:37:56.015 Get DPM Server IP End.
2022-08-02 18:37:56.030 Get DPM Server IP Successfully.
2022-08-02 18:37:56.061 BootNic Start.
2022-08-02 18:37:56.140 Send BootNic Request By: 00-15-5d-ff-25-57
2022-08-02 18:37:56.140 Current IP: 172.16.200.1
2022-08-02 18:37:56.468 Primary MAC: 00-15-5d-ff-25-57
2022-08-02 18:37:56.468 Primary MAC IP: 172.16.200.1
2022-08-02 18:37:56.468 ACK received, BootNic Successfully.
2022-08-02 18:37:56.468 BootNic End.
2022-08-02 18:37:56.468 BootNic get operation type 3
2022-08-02 18:37:56.483 Write to file D:\172.16.0.1\FD-Linux\config\BackupRestoreConf\WinPE.ini X:\Windows\System32\WNEC\DPM 26508
2022-08-02 18:37:56.795 Download BackupRestoreConf\WinPE.ini successfully.
2022-08-02 18:37:56.796 UnicastSendTimeoutSec: 300
2022-08-02 18:37:56.796 UnicastRecvTimeoutSec: 300
2022-08-02 18:37:56.796 DisIntervalTimes: 1
2022-08-02 18:37:56.796 DiskCheckTimeoutSec: 2147483647
2022-08-02 18:37:56.796 ProgressRetryTimesForPE: 5
2022-08-02 18:37:56.796 ProgressIntervalTimeForPE: 1
2022-08-02 18:37:56.796 ProgressToSvrRetryTimesForPE: 5
2022-08-02 18:37:56.796 ProgressToSvrIntervalTimeForPE: 10
2022-08-02 18:37:56.796 RebootAfterErrorForPE: 0
2022-08-02 18:37:56.811 Restore Start.
2022-08-02 18:37:56.890 bind: 172.16.200.1
2022-08-02 18:37:56.905 Connect: 172.16.0.1, times: 0
2022-08-02 18:37:56.905 Connect to DPM Server successfully.
2022-08-02 18:37:56.905 Get Machine Model Name Start.
2022-08-02 18:37:57.265 wmic csproduct get name successfully.
2022-08-02 18:37:57.265 Model Name: Virtual Machine
2022-08-02 18:37:57.265 Get Machine Serial Number Start
2022-08-02 18:37:57.421 wmic bios get serialnumber successfully.
2022-08-02 18:37:57.421 Serial Number: 4376-5979-7295-9875-9184-2914-57
2022-08-02 18:37:57.421 Send CMDENQ to DPM Server.
2022-08-02 18:37:57.421 Send model name successfully.
2022-08-02 18:37:57.421 Send serial number successfully.
2022-08-02 18:37:57.780 Receive OPCODE_OPINFO.
2022-08-02 18:37:57.796 Receive Compress
2022-08-02 18:37:57.796 Receive Disk Info
2022-08-02 18:37:57.843 Disk 1.
2022-08-02 18:37:57.843 Image Name: AutoDeploy-0001.Hu
2022-08-02 18:37:57.921 CIFS Account: KST-MGR01W\dpmshareuser
2022-08-02 18:37:57.921 CIFS Share Path: \\KST-MGR01W\DeployBackup$
2022-08-02 18:37:57.936 Send Restore Ready to DPM Server.
2022-08-02 18:37:57.936 From DPM Server get Scenario operation info successfully.
2022-08-02 18:37:57.968 Disk 1 restore start.
```

3.5. マスタイメージ作成の準備

マスタマシンに対してマスタイメージを採取できる状態にします。

◆ マスタマシン上のSysprepファイルのコピー

ツールを利用して、マスタマシン上にSysprepファイルをコピーします。

- マスタマシンに管理者権限を持つユーザでログオンします。
- DPMの製品媒体より、以下のツールを実行します。

<インストール媒体>:%DPM%\TOOLS\ExpressSysprep\Windows\Copy-ExpressSysprep-NonClient.vbs

- 以下のダイアログが表示されます。「OK」をクリックします。



- ツールの実行が完了すると以下が表示されます。



3.5. マスタイメージ作成の準備

◆ Sysprep.batの実行

- ディスク複製インストールの処理時に接続するDPM サーバ情報を編集します。

<OS が起動しているドライブ>:%Sysprep%Express-Server.ini

- 以下のように管理サーバIPを設定します。

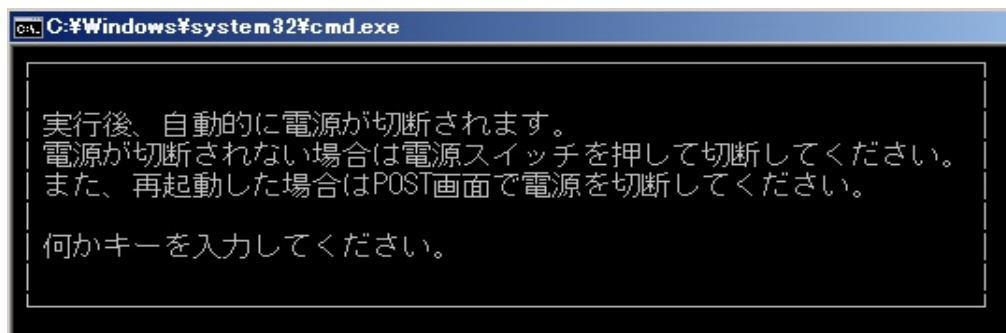
```
ServerIP=192.168.1.1  
FTUnicastPort=26508
```

- 「ファイル名を指定して実行」でSysprepを実行します。「名前」ボックスに以下のコマンドを入力し、「Enter」キーを押します。

※Administrator 以外のユーザでマスタマシンにログオンしている場合は、管理者として実行してください。

<OSが起動しているドライブ>:%Sysprep%Sysprep.bat

- 以下のような画面が表示されます。画面の指示に従って操作します。



- Sysprep.bat の実行後、自動的にマスタマシンの電源がOFF になります。
※マスタマシンが再起動した場合は、POST 画面でDHCP サーバからIP アドレスを取得する直前に電源ボタンを押して電源をOFF にしてください。

3.6. マスタイメージ作成

マスタイメージ作成の準備ができましたので、マスタマシンのバックアップ(ディスク複製インストール用)を行うことでマスタマシンのイメージ作成を行います。

◆ バックアップシナリオの作成 (1)

- ディスク構成チェックで確認したディスク番号の情報を使用します。
- 「運用」ビューから、シナリオグループの「Built-in Scenarios」を選択して、「System_Backup」をチェックして「シナリオコピー」をクリックします。

The screenshot shows the Deployment Manager web interface. The left sidebar shows a tree view with '運用' (Operation) selected, and 'Built-in Scenarios(8/8)' highlighted. The main content area displays a table of scenarios. The 'System_Backup' scenario is checked. The 'シナリオコピー' button is highlighted with a red box, and a red arrow points from the 'Built-in Scenarios(8/8)' link in the sidebar to the 'System_Backup' row in the table.

| シナリオ名 | 種類 | 編集 |
|---|------------|----|
| <input type="checkbox"/> System_AgentUpgrade_Mul... | パッケージ | |
| <input checked="" type="checkbox"/> System_Backup | バックアップ | |
| <input type="checkbox"/> System_DiskProbe | ディスク構成チェック | |
| <input type="checkbox"/> System_LinuxAgentUpgrad... | パッケージ | |
| <input type="checkbox"/> System_LinuxMasterSetup | パッケージ | |
| <input type="checkbox"/> System_Restore_Unicast | リストア | |
| <input type="checkbox"/> System_WindowsMasterSe... | パッケージ | |
| <input type="checkbox"/> System_WindowsMasterSe... | パッケージ | |

3.6. マスタイメージ作成

◆ バックアップシナリオの作成（2）

- 「シナリオコピー」画面が表示されますので、シナリオ名欄に任意のシナリオ名を入力します。
 - 例として、ディスク番号1番のバックアップを行う場合、「System_MasterImage_win10」というシナリオ名で説明します。
- 「バックアップ/リストア」タブに切り替えて、イメージファイル名を入力します。
 - 例として「C:¥DeployBackup¥masterimage_win10.lbr」というイメージファイル名で説明します。
- ディスク番号欄に「1」と記入されていることを確認します。

The screenshot shows the Deployment Manager web interface. The breadcrumb navigation is 'リソース > シナリオ > Built-in Scenarios > シナリオコピー'. The scenario name is 'System_MasterImage_win10'. The 'バックアップ/リストア' tab is selected. The 'バックアップ/リストアを実行する' section is checked, with 'バックアップ' selected. The image file path is 'C:\DeployBackup\masterimage_win10.lbr'. The 'ディスク番号' field is set to '1'. The 'イメージファイル名' field is 'C:¥DeployBackup¥masterimage_win10.lbr'. The 'シナリオ名' field is 'System_MasterImage_win10'. The 'ディスク番号' field is '1'. The 'イメージファイル名' field is 'C:¥DeployBackup¥masterimage_win10.lbr'. The 'シナリオ名' field is 'System_MasterImage_win10'. The 'ディスク番号' field is '1'. The 'イメージファイル名' field is 'C:¥DeployBackup¥masterimage_win10.lbr'.

3.6. マスタイメージ作成

◆ バックアップシナリオの作成（3）

- 下方にスクロールして、ディスク情報欄にバックアップしたいディスクの情報を入力します。
- 今回の例では、ディスク番号欄に「1」が設定されていることを確認します。

sysadmin (Administrator) | アカウント | ログアウト

運用 | 監視 | 管理

リソース > シナリオ > Built-in Scenarios > シナリオコピー

バックアップ/リストア対象

隠しパーティションを無視する

ディスク情報

ディスク一覧

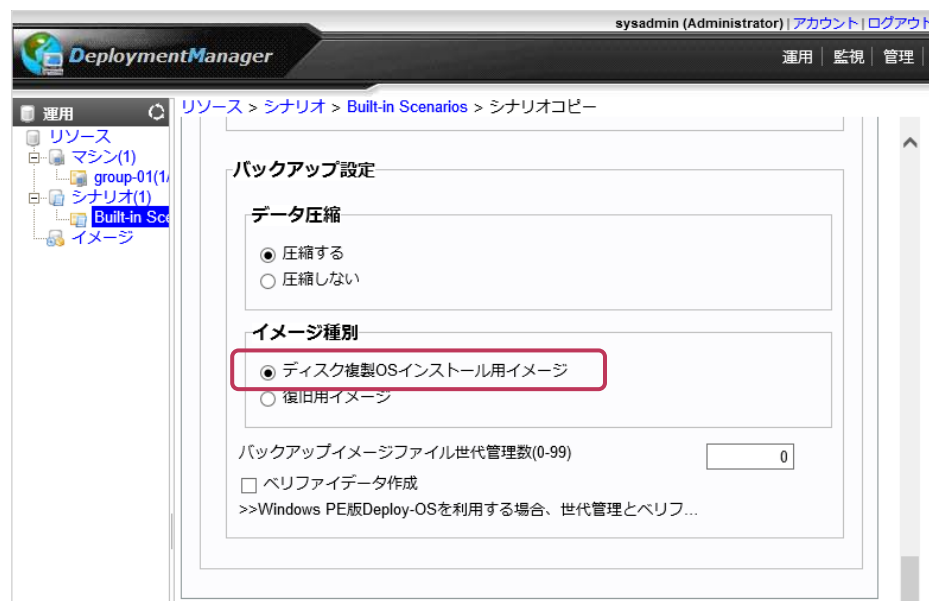
| インポート | ディスク追加 | ディスク削除 |

| | ディスク番号 | パーティション番号 | 処理方式 | 編集 |
|--------------------------|--------|-----------|-------|----|
| <input type="checkbox"/> | 1 | a-v | 有効セクタ | |

3.6. マスタイメージ作成

◆ バックアップシナリオの作成（4）

- 下方にスクロールして、「バックアップ設定」の「イメージ種別」の選択を「ディスク複製OSインストール用イメージ」に選択します。



3.6. マスタイメージ作成

◆ バックアップシナリオの作成（5）

- 「オプション」タブをクリックします。
- 「シナリオ実行動作設定」の「シナリオ終了時に対象マシンの電源をOFFにする」のチェックをオンにします。

The screenshot shows the Deployment Manager web interface. The breadcrumb path is: リソース > シナリオ > Built-in Scenarios > シナリオコピー. The scenario name is 'System_Master Image_win10'. The 'オプション' (Option) tab is selected. Under 'シナリオ実行動作設定' (Scenario execution action settings), the checkbox 'シナリオ終了時に対象マシンの電源をOFFにする' (Turn off the power of the target machine at the end of the scenario) is checked and highlighted with a red box. A warning message below states: 'ディスク複製OSインストールを目的としてリストアを行う場合は、本項目を指定しないでください。' (If you are restoring for the purpose of disk cloning OS installation, do not specify this item.)

3.6. マスタイメージ作成

◆ バックアップシナリオの作成（6）

- 下方にスクロールして、「コピー先」欄で「ScenarioGroup-01」を選択して「OK」をクリックします。



3.6. マスタイメージ作成

◆ バックアップシナリオの割り当て/実行 (1)

作成したバックアップシナリオ(ディスク複製インストール用)を、マスタマシン(管理対象マシン)に割り当て/実行します。

- 「運用」ビューから、マシングループの「group-01」を選択して、「管理対象マシン一覧」上の「win10」にチェックを入れます。
- 操作プルダウンボックスから「シナリオ割り当て」を選択します。

The screenshot shows the Deployment Manager web interface. The left sidebar displays a tree view with 'group-01' selected. The main content area shows the 'group-01' details, including a table of managed machines. The 'win10' machine is selected with a checkmark. A context menu is open over the 'win10' machine, with 'シナリオ割り当て' (Assign Scenario) highlighted. A red arrow points from the 'group-01' folder in the sidebar to the 'win10' machine in the table, and another red arrow points from the 'win10' machine to the 'シナリオ割り当て' option in the context menu. A red box highlights the 'シナリオ割り当て' option in the context menu.

| 名前 | IPアドレス | MACアドレス | 状態 | 電源 |
|-------|--------|------------------|----|----|
| win10 | | 00-0c-29-57-e... | | On |

Copyright(C) NEC Corporation 2002-2013. Version: DeploymentManager 6.2-24107

3.6. マスタイメージ作成

◆ バックアップシナリオの割り当て/実行（2）

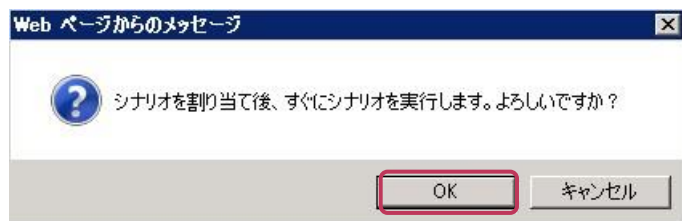
- 「シナリオ割り当て」画面が表示されますので、「参照」をクリックします。
- 「シナリオ選択」画面が表示されますので「ScenarioGroup-01」配下の「System_MasterImage_win10」を選択して「OK」をクリックします。
- 「シナリオ割り当て」画面の「すぐに実行」をクリックします。



3.6. マスタイメージ作成

◆ バックアップシナリオの割り当て/実行（3）

- 確認画面が表示されますので、「OK」をクリックします。



- シナリオ実行後、手動で、マスタマシンの起動・再起動を行ってください。
 - マシンが起動している場合は、手動でOS再起動してください。
 - マシンの電源がOFFの場合は、手動で電源を入れてください。

3.6. マスタイメージ作成

◆ バックアップの進捗状況確認（1）

Webコンソール画面からバックアップの進捗状況を確認できます。

- バックアップを実行しているマシンの「シナリオ実行中」をクリックすることでバックアップの進捗状況を確認できます

The screenshot displays the Deployment Manager web console interface. The top navigation bar shows the user is logged in as 'sysadmin (Administrator)'. The main content area is divided into several sections:

- Left Panel:** A tree view showing the hierarchy: リソース > マシン > group-01. The 'group-01(2/2)' folder is selected and highlighted with a red box.
- Main Content Area:**
 - グループ詳細:** Shows 'group-01'.
 - 管理対象マシン一覧:** A table listing machines. The machine 'win10' is highlighted with a red box, and its status is 'シナリオ実行中' (Scenario Running). A red arrow points from this status to the 'win10' label in the left panel.
 - サブグループ一覧:** A table listing subgroups.
 - 監視:** A section with a '監視' button and a 'シナリオ実行一覧' link. A blue arrow points from this link to the 'シナリオ実行一覧' table.
- Right Panel:** A '設定' (Settings) menu with options like 'グループ編集', 'グループ削除', 'サブグループ追加', etc.

The 'シナリオ実行一覧' table shows the following data:

| マシン名 | IPアドレス | MACアド... | グルー... | シナリオ... | 状態 | 実行状況 | 詳細 |
|-------|--------|---------------|----------|-----------|--------|------|----|
| win10 | | 00-0c-29-7... | group-01 | System... | バック... | 5% | >> |

3.6. マスタイメージ作成

◆ バックアップの進捗状況確認（2）

- マスタマシンの画面ではバックアップの進捗状況が確認できます。
 - バックアップ時間は、環境により異なります。

```
Network boot from Intel E1000
Copyright (C) 2003-2008 VMware, Inc.
Copyright (C) 1997-2008 Intel Corporation

CLIENT MAC ADDR: 0A 0C 29 7E 6F FD GUID: 564DDAF9-4183-7063-5CFB-CA6A5F7E
CLIENT IP: 192.168.1.50 MASK: 255.255.255.0 DHCP IP: 192.168.1.1

Auto-select:
nnSIIMMI
UD 192.168.1.1/
```



```
DPMWinPEDesktop
Current Disk No. 1 / Total Count: 1
Progress: 33%
2022-08-02 18:37:55.999 Application GetDPMServerIP Exited with succeeded.
2022-08-02 18:37:56.000 DPM Server IP: 172.16.0.1
2022-08-02 18:37:55.999 BootNic Port: 26502
2022-08-02 18:37:55.999 File transport Port: 26508
2022-08-02 18:37:55.999 Biresave Port: 26501
2022-08-02 18:37:56.015 Communication MAC: 00-15-5d-ff-25-57
2022-08-02 18:37:56.015 Get DPM Server IP End.
2022-08-02 18:37:56.000 Get DPM Server IP Successfully.
2022-08-02 18:37:56.061 BootNic Start.
2022-08-02 18:37:56.140 Send BootNic Request By 00-15-5D-FF-25-57
2022-08-02 18:37:56.140 Current IP: 172.16.200.1
2022-08-02 18:37:56.468 Primary MAC: 00-15-5D-FF-25-57
2022-08-02 18:37:56.468 Primary MAC IP: 172.16.200.1
2022-08-02 18:37:56.468 ACK received. BootNic Successfully.
2022-08-02 18:37:56.468 BootNic End.
2022-08-02 18:37:56.468 BootNic get operation type 3
2022-08-02 18:37:56.483 Write use D: 172.16.0.1 FD: Linux\config\BackupRestoreConf\WinPE.ini X:\Windows\System32\OC\DPMSW 26508
2022-08-02 18:37:56.765 Download BackupRestoreConf\WinPE.ini successfully.
2022-08-02 18:37:56.796 UnicastSendTimeoutSec: 300
2022-08-02 18:37:56.796 UnicastRecvTimeoutSec: 300
2022-08-02 18:37:56.796 DiscIntervalTimes: 1
2022-08-02 18:37:56.796 DiskCheckTimeoutSec: 2147483647
2022-08-02 18:37:56.796 ProgressRetryTimesForPE: 5
2022-08-02 18:37:56.796 ProgressIntervalTimeForPE: 1
2022-08-02 18:37:56.796 ProgressToSvrRetryTimesForPE: 5
2022-08-02 18:37:56.796 ProgressToSvrIntervalTimesForPE: 10
2022-08-02 18:37:56.796 RebootAfterErrorForPE: 0
2022-08-02 18:37:56.811 Restore Start.
2022-08-02 18:37:56.800 bind: 172.16.200.1
2022-08-02 18:37:56.905 Connect 172.16.0.1, times: 0
2022-08-02 18:37:56.905 Connect to DPM Server successfully.
2022-08-02 18:37:56.905 Get Machine Model Name Start.
2022-08-02 18:37:57.265 wmic -product get name successfully.
2022-08-02 18:37:57.265 Model Name: Virtual Machine
2022-08-02 18:37:57.265 Get Machine Serial Number Start.
2022-08-02 18:37:57.421 wmic bios get serialnumber successfully.
2022-08-02 18:37:57.421 Serial Number: 4376-5979-7255-9875-8184-2914-57
2022-08-02 18:37:57.421 Send CMDENQ to DPM Server.
2022-08-02 18:37:57.421 Send model name successfully.
2022-08-02 18:37:57.421 Send serial number successfully.
2022-08-02 18:37:57.780 Receive OP CODE_OPINFO.
2022-08-02 18:37:57.796 Receive Compress.
2022-08-02 18:37:57.796 Receive Disk Info.
2022-08-02 18:37:57.843 Disk: 1
2022-08-02 18:37:57.843 Inuse Name: AutoDeploy-0001.flu
2022-08-02 18:37:57.921 CFS Account: KST-MGR01\qdmshareuser
2022-08-02 18:37:57.921 CFS Share folder: \\KST-MGR01\DeployBackup$
2022-08-02 18:37:57.938 Send Restore Ready to DPM Server.
2022-08-02 18:37:57.938 From DPM Server get Scenario operation info successfully.
2022-08-02 18:37:57.968 Disk1 restore start:
```

3.7. マスタマシン復旧

マスタイメージを作成できましたので、マスタマシンを個性が削除された状態から元に戻すため、復旧用イメージを使用してリストアを行います。

◆ リストアシナリオの作成（1）

- リストアの手順はバックアップシナリオ完了後に行ってください。
- 「運用」ビューから、シナリオグループの「Built-in Scenarios」を選択します。

The screenshot shows the Deployment Manager interface. The left sidebar has a tree view with 'Built-in Scenarios(8/8)' selected. The main content area shows a list of scenarios under the 'Built-in Scenarios' group. The 'System_Restore_Unicast' scenario is selected, and its checkbox is checked. A red box highlights the 'シナリオコピー' button, and a callout box points to it with the text 'シナリオコピー'.

| シナリオ名 | 種類 | 編集 |
|--|------------|----|
| <input type="checkbox"/> System_AgentUpgrade_Mul... | パッケージ | |
| <input type="checkbox"/> System_Backup | バックアップ | |
| <input type="checkbox"/> System_DiskProbe | ディスク構成チェック | |
| <input type="checkbox"/> System_LinuxAgentUpgrad... | パッケージ | |
| <input type="checkbox"/> System_LinuxMasterSetup | パッケージ | |
| <input checked="" type="checkbox"/> System_Restore_Unicast | リストア | |
| <input type="checkbox"/> System_WindowsMasterSe... | パッケージ | |
| <input type="checkbox"/> System_WindowsMasterSe... | パッケージ | |

3.7. マスタマシン復旧

◆ リストアシナリオの作成（2）

- シナリオ名欄に任意のシナリオ名を入力します。
 - 例として「System_Restore_Unicast_win10」の名前で説明します。
- 「バックアップ/リストア」タブに切り替えて、イメージファイル欄に対象のイメージファイル名を入力します。
 - 例として、「C:¥DeployBackup¥backup_win10.lbr」で説明します。

The screenshot shows the Deployment Manager web interface. The breadcrumb navigation is "リソース > シナリオ > Built-in Scenarios > シナリオコピー". The page title is "シナリオコピー".

The "シナリオ名" (Scenario Name) field contains "System_Restore_Unicast_win10".

The "バックアップ/リストア" (Backup/Restore) tab is selected. The "バックアップ/リストアを実行する" (Execute Backup/Restore) checkbox is checked. The "リストア" (Restore) radio button is selected.

The "イメージファイル" (Image File) field contains "C:\DeployBackup\backup_win10.lbr".

The "オプション" (Options) section has "マシン名" (Machine Name) unchecked, "MACアドレス" (MAC Address) checked, and "UUID" checked.

Red boxes and arrows highlight the scenario name, the "バックアップ/リストア" tab, and the image file path.

3.7. マスタマシン復旧

◆ リストアシナリオの作成（3）

■ 下方にスクロールして、ディスク情報欄の設定を行います。

- 例として「ディスク番号」は1番目のディスクを指定する場合について説明します。
- ディスク一覧の既定で設定されている行の編集アイコンをクリックします。
- 「ディスク編集」の画面が表示されるので、「ディスク番号(元)」と「ディスク番号(先)」にそれぞれ1を入力し、「ディスク全体」のチェックをオンにして、「適用」をクリックします。

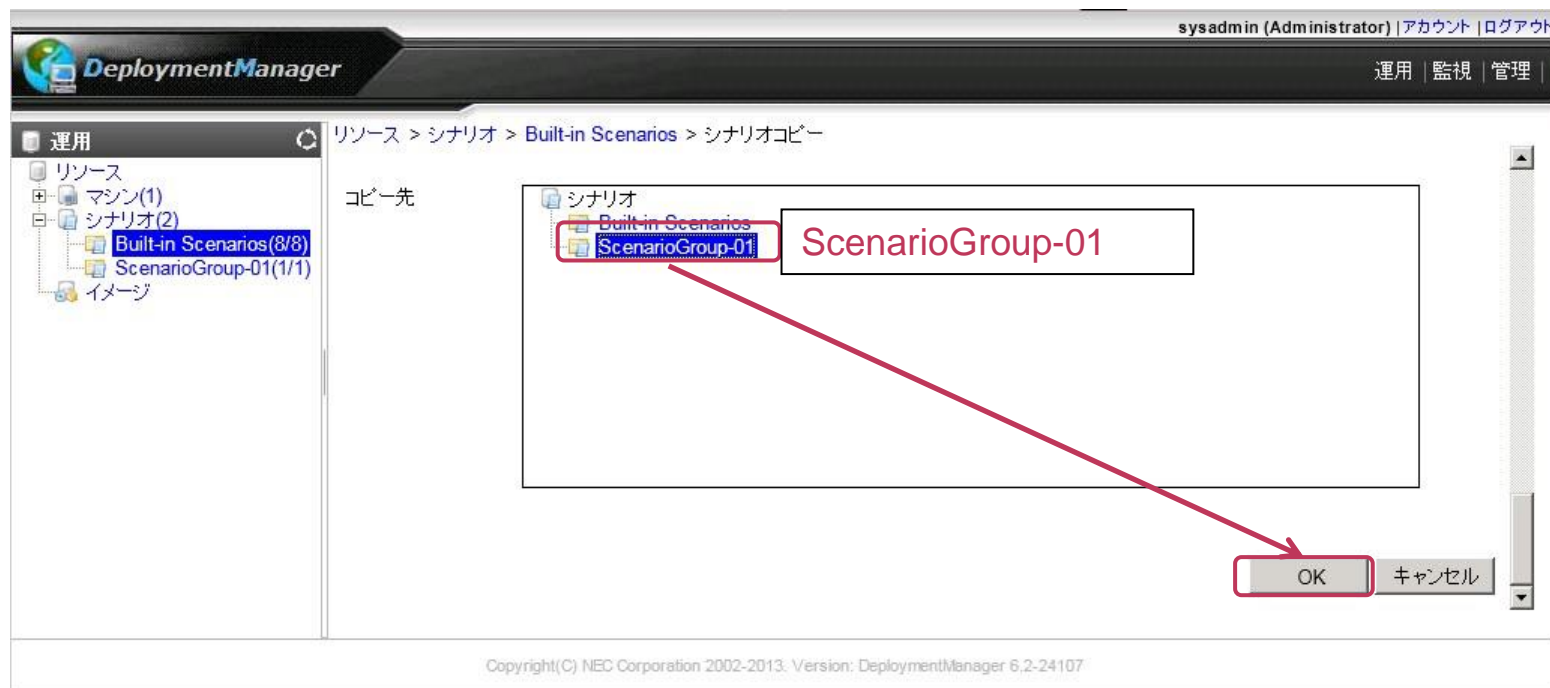
The screenshot shows the Deployment Manager web interface. The breadcrumb navigation is "リソース > シナリオ > Built-in Scenarios > シナリオコピー". The left sidebar shows a tree view with "Built-in Scenarios(18/18)" selected. The main content area is titled "バックアップ/リストア対象" and includes a checkbox for "隠しパーティションを無視する". Below this is the "ディスク情報" section, which contains a "ディスク一覧" table. The table has columns for "ディスク番号(元)", "パーティション番号(元)", "ディスク番号(先)", "パーティション番号(先)", and "編集". A red box highlights the "編集" icon in the first row. Below the table is the "ディスク編集" section, which has two input fields for "ディスク番号(元)" and "ディスク番号(先)", both containing the value "1". A red box highlights the "ディスク全体" checkbox, which is checked. At the bottom right, there are "適用" and "キャンセル" buttons, with a red box highlighting the "適用" button. Red arrows point from the "編集" icon to the input fields and the "適用" button.

| ディスク番号(元) | パーティション番号(元) | ディスク番号(先) | パーティション番号(先) | 編集 |
|-----------|--------------|-----------|--------------|----|
| 0 | 0 | 1 | a | |

3.7. マスタマシン復旧

◆ リストアシナリオの作成（４）

- 下方にスクロールして、「コピー先」欄で「ScenarioGroup-01」を選択して、「OK」をクリックします。



3.7. マスタマシン復旧

◆ リストアシナリオの割り当て/実行 (1)

- 「運用」ビューからマシングループの「group-01」を選択して、「管理対象マシン一覧」上の「win10」にチェックを入れます。
- 操作プルダウンボックスから「シナリオ割り当て」を選択します。

The screenshot shows the Deployment Manager web interface. The breadcrumb navigation is "リソース > マシン > group-01". The main content area is titled "グループ詳細" (Group Details) and contains a "管理対象マシン一覧" (Managed Machine List) table. The table has columns for "名前" (Name), "IPアドレス" (IP Address), "MACアドレス" (MAC Address), "状態" (Status), and "電源" (Power). The machine "win10" is selected with a checkmark. A context menu is open over the "win10" row, with "シナリオ割り当て" (Assign Scenario) highlighted. A red box and arrow point to this menu item. Another red box and arrow point to the "group-01" folder in the left-hand navigation tree. The right-hand sidebar contains a "設定" (Settings) panel with various options like "グループ編集" (Edit Group) and "シナリオ割り当て" (Assign Scenario).

| 名前 | IPアドレス | MACアドレス | 状態 | 電源 |
|---|--------|------------------|----|--------|
| <input checked="" type="checkbox"/> win10 | | 00-0c-29-57-e... | | On Sys |

3.7. マスタマシン復旧

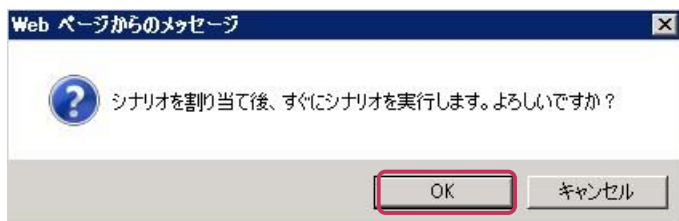
◆ リストアシナリオの割り当て/実行（2）

- 「シナリオ割り当て」画面が表示されますので、「参照」をクリックすると、「シナリオ選択画面」の「ScenarioGroup-01」配下の「System_Restore_Unicast_win10」を選択して「OK」をクリックします。
- 「シナリオ割り当て」画面の「すぐに実行」をクリックします。

The image shows two screenshots from a software application. The left screenshot is the 'シナリオ割り当て' (Scenario Assignment) screen. It has a breadcrumb path 'リソース > マシン > group-01 > シナリオ割り当て'. The 'シナリオ設定' (Scenario Settings) section has 'シナリオ割り当て' selected. The 'シナリオ名' (Scenario Name) field is empty, and a red box highlights the '参照' (Reference) button next to it. Below, the 'シナリオ実行管理スケジュール' (Scenario Execution Management Schedule) section has '一回のみ' (One-time) selected, and the date is set to '2013/05/31'. At the bottom, a red box highlights the 'すぐに実行' (Execute Immediately) button. The right screenshot is the 'シナリオ選択' (Scenario Selection) dialog box. It shows a tree view with 'ScenarioGroup-01' expanded, and 'System_Restore_unicast_win10' selected. A red box highlights this selection. A callout box above the dialog points to this selection with the text 'System_Restore_unicast_win10'. At the bottom of the dialog, a red box highlights the 'OK' button. A large blue arrow points from the '参照' button in the left screenshot to the 'System_Restore_unicast_win10' selection in the right screenshot. A red arrow points from the 'OK' button in the right screenshot to the 'すぐに実行' button in the left screenshot.

3.7. マスタマシン復旧

- ◆ リストアシナリオの割り当て/実行（3）
 - 確認画面が表示されますので、「OK」をクリックします。



- シナリオ実行後、手動で、マスタマシンの起動・再起動を行ってください。
 - マシンが起動している場合は、手動でOS再起動してください。
 - マシンの電源がOFFの場合は、手動で電源を入れてください。

3.7. マスタマシン復旧

◆ リストアの進捗状況確認（1）

- Webコンソール画面でもリストアの進捗状況を確認できます。
- リストアを実行しているマシンの「シナリオ実行中」をクリックすることでリストアの進捗状況を確認できます。

The screenshot displays the Deployment Manager web console interface. The top navigation bar shows the user is logged in as 'sysadmin (Administrator)'. The main content area is divided into several sections:

- 運用 (Operation):** Shows a tree view of resources. 'group-01(1/1)' is highlighted with a red box. A red arrow points from this box to the 'シナリオ実行中' (Scenario Running) status in the table below.
- グループ詳細 (Group Details):** Displays 'group-01' details. A table lists managed machines. The machine 'win10' is highlighted with a red box, and its status 'シナリオ実行中' is also highlighted with a red box. A red arrow points from the 'group-01(1/1)' box to this status.
- 監視 (Monitoring):** A blue arrow points to the 'シナリオ実行一覧' (Scenario Execution List) link in the monitoring menu.
- シナリオ実行一覧 (Scenario Execution List):** Shows a table of active scenarios. The row for 'win10' is highlighted, showing a progress of 8%.

| 名前 | IPアドレス | MACアドレス | 状態 | 電源 | シナリオ名 | 編集 |
|-------|--------|----------------|---------|----|---------------------|----|
| win10 | | 00-0c-29-57... | シナリオ実行中 | On | System_Restore_U... | |

| マシン名 | IPアドレス | MACアド... | グルー... | シナリオ... | 状態 | 実行状況 | 詳細 |
|-------|--------|---------------|----------|-----------|--------|------|----|
| win10 | | 00-0c-29-7... | group-01 | System... | リスト... | 8% | >> |

3.7. マスタマシン復旧

◆ リストアの進捗状況確認（2）

- マスタマシンの画面では、リストアの進捗状況が確認できます。

```
Network boot from Intel E1000
Copyright (C) 2003-2008 VMware, Inc.
Copyright (C) 1997-2000 Intel Corporation

CLIENT MAC ADDR: AA AC 29 7E 6F FD GUID: 564DDAF9-41A3-7063-5CFB-C6A95
CLIENT IP: 192.168.1.50 MASK 255.255.255.0 DHCP IP 192.168.1.1

Auto-select:
  DOSUNDI
UD 192.168.1.1/
```



```
DPHWinPEDesktop
Current Disk No. 1 / Total Count: 1
Progress: 33%

2022-08-02 18:37:55.999 Application GetDPMServerIP Exited with succeeded.
2022-08-02 18:37:55.999 DPM Server IP:172.16.0.1
2022-08-02 18:37:55.999 BootNIC Port:26502
2022-08-02 18:37:55.999 File transport Port:26508
2022-08-02 18:37:56.015 Bypassive Port:26501
2022-08-02 18:37:56.015 Communication MAC:00-15-5d-f1-25-57
2022-08-02 18:37:56.015 Get DPM Server IP End.
2022-08-02 18:37:56.030 Get DPM Server IP Successfully.
2022-08-02 18:37:56.061 BootNIC Start.
2022-08-02 18:37:56.140 Send BootNIC Request By 00-15-5D-F1-25-57
2022-08-02 18:37:56.140 Current IP:172.16.200.1
2022-08-02 18:37:56.468 PrimaryMAC:00-15-5D-F1-25-57
2022-08-02 18:37:56.468 PrimaryMACP:172.16.200.1
2022-08-02 18:37:56.468 ACK received, BootNIC Successfully.
2022-08-02 18:37:56.468 BootNIC End.
2022-08-02 18:37:56.468 BootNIC get operation type 3
2022-08-02 18:37:56.483 Write.exe D:172.16.0.1 FD:\Linux\config\BackupRestoreConfWinPE.ini X:\Windows\System32\WEC\DPMW 26508
2022-08-02 18:37:56.765 Download BackupRestoreConfWinPE.ini successfully.
2022-08-02 18:37:56.796 UnicastSendTimeoutSec : 300
2022-08-02 18:37:56.796 UnicastRecvTimeoutSec : 300
2022-08-02 18:37:56.796 DiskIntervalTimes : 1
2022-08-02 18:37:56.796 DiskCheckTimeoutSec : 2147483647
2022-08-02 18:37:56.796 ProgressRetryTimesForPE : 5
2022-08-02 18:37:56.796 ProgressIntervalTimesForPE : 1
2022-08-02 18:37:56.796 ProgressToSwRetryTimesForPE : 5
2022-08-02 18:37:56.796 ProgressToSwIntervalTimesForPE : 10
2022-08-02 18:37:56.796 RebootAfterErrorForPE : 0
2022-08-02 18:37:56.811 Restore Start
2022-08-02 18:37:56.890 bind. 172.16.200.1
2022-08-02 18:37:56.905 Connect 172.16.0.1,times:0
2022-08-02 18:37:56.905 Connect to DPM Server successfully.
2022-08-02 18:37:56.905 Get Machine Model Name Start
2022-08-02 18:37:57.265 wmic csproduct set name successfully.
2022-08-02 18:37:57.265 Model Name: Virtual Machine
2022-08-02 18:37:57.265 Get Machine Serial Number Start
2022-08-02 18:37:57.421 wmic bios set serialnumber successfully.
2022-08-02 18:37:57.421 Serial Number: 4376-5979-7265-9875-8184-2914-57
2022-08-02 18:37:57.421 Send CMDENQ to DPM Server.
2022-08-02 18:37:57.421 Send model name successfully.
2022-08-02 18:37:57.421 Send serial number successfully.
2022-08-02 18:37:57.780 Receive OPCODE_OPINFO
2022-08-02 18:37:57.796 Receive Compress
2022-08-02 18:37:57.796 Receive Disk Info
2022-08-02 18:37:57.843 Disk 1
2022-08-02 18:37:57.843 Image Name: AutoDeploy-0001.hfu
2022-08-02 18:37:57.921 CFS Account: KST-MGR01\dpmshareuser
2022-08-02 18:37:57.921 CFS ShareFolder: \\KST-HGR01W\DeployBackupB
2022-08-02 18:37:57.936 Send Restore Ready to DPM Server.
2022-08-02 18:37:57.936 From DPM Server get Scenario operation info successfully.
2022-08-02 18:37:57.968 Disk1 restore start:
```


4. キットティング作業

4.1. 一括OS展開の準備

一括OS展開で使用するシナリオの準備を行います。

◆ 一括OS展開のシナリオの作成（1）

- 「運用」ビューから、シナリオグループの「Built-in Scenarios」を選択します。
- 「シナリオ一覧」の「System_AutoDeploy」にチェックを入れて「シナリオコピー」をクリックします。

The screenshot shows the Deployment Manager web interface. The breadcrumb path is 'リソース > シナリオ > Built-in Scenarios'. The '運用' (Operational) view is active. In the left sidebar, 'Built-in Scenarios(8/8)' is selected. The main area displays a table of scenarios:

| シナリオ名 | 種類 | 編集 |
|---|------------|----|
| <input type="checkbox"/> System_AgentUpgrade_Multicast | パッケージ | |
| <input checked="" type="checkbox"/> System_AutoDeploy | リストア | |
| <input type="checkbox"/> System_Backup | バックアップ | |
| <input type="checkbox"/> System_DiskProbe | ディスク構成チェック | |
| <input type="checkbox"/> System_GetHardwareInfo | HW情報取得 | |
| <input type="checkbox"/> System_LinuxAgentUpgrade_Multicast | パッケージ | |
| <input type="checkbox"/> System_LinuxChgBootOrder | パッケージ | |
| <input type="checkbox"/> System_LinuxChgHostName | パッケージ | |

Buttons for 'シナリオ移動' and 'シナリオコピー' are visible above the table. The 'シナリオコピー' button is highlighted with a red box and a callout label. The 'System_AutoDeploy' row is also highlighted with a red box. The top right navigation bar includes '運用', '監視', and '管理'.

4.1. 一括OS展開の準備

◆ 一括OS展開のシナリオの作成（2）

- シナリオ名欄に任意のシナリオ名を入力します。
 - 例として「System_AutoDeploy_win10」の名前で説明します。
- 「バックアップ/リストア」タブに切り替えて、イメージファイル欄に対象のイメージファイル名を入力します。
 - 例として、「C:¥DeployBackup¥masterimage_win10.lbr」で説明します。
- ディスク番号欄に、リストアしたいディスクのディスク番号を指定します。
 - 例としてディスク番号1番のディスクにリストアする場合について説明します。

The screenshot shows the Deployment Manager interface with the following configuration:

- シナリオ名: System_AutoDeploy_win10
- HW設定 | OS | パッケージ | **バックアップ/リストア** | オプション
- バックアップ/リストアを実行する
 - バックアップ
 - リストア
 - ディスク構成チェック
- イメージファイル: C:\DeployBackup\masterimage_win10.lbr
- マシ名: マシン名 MACアドレス UUID

4.1. 一括OS展開の準備

◆ 一括OS展開のシナリオの作成（3）

■ 下方にスクロールして、ディスク情報欄の設定を行います。

- 例として「ディスク番号」は1番目のディスクを指定する場合について説明します。
- ディスク一覧の既定で設定されている行の編集アイコンをクリックします。
- 「ディスク編集」の画面が表示されるので、「ディスク番号(元)」と「ディスク番号(先)」にそれぞれ1を入力し、「ディスク全体」のチェックをオンにして、「適用」をクリックします。

The screenshot shows the Deployment Manager web interface. The left sidebar displays a tree view with 'シナリオ(2)' expanded to 'Built-in Scenarios(18/18)'. The main content area is titled 'バックアップ/リストア対象' and contains a 'ディスク情報' section. This section includes a 'ディスク一覧' table and a 'ディスク編集' form. Red arrows highlight the '編集' icon in the table, the input fields for '1' in the 'ディスク編集' form, the 'ディスク全体' checkbox, and the '適用' button.

バックアップ/リストア対象

隠しパーティションを無視する

ディスク情報

ディスク一覧

| インポート | ディスク追加 | ディスク削除 |

| <input type="checkbox"/> | ディスク番号(元) | パーティション番号(元) | ディスク番号(先) | パーティション番号(先) | 編集 |
|--------------------------|-----------|--------------|-----------|--------------|----|
| <input type="checkbox"/> | 0 | 0 | 1 | a | |

ディスク編集

ディスク番号(元)

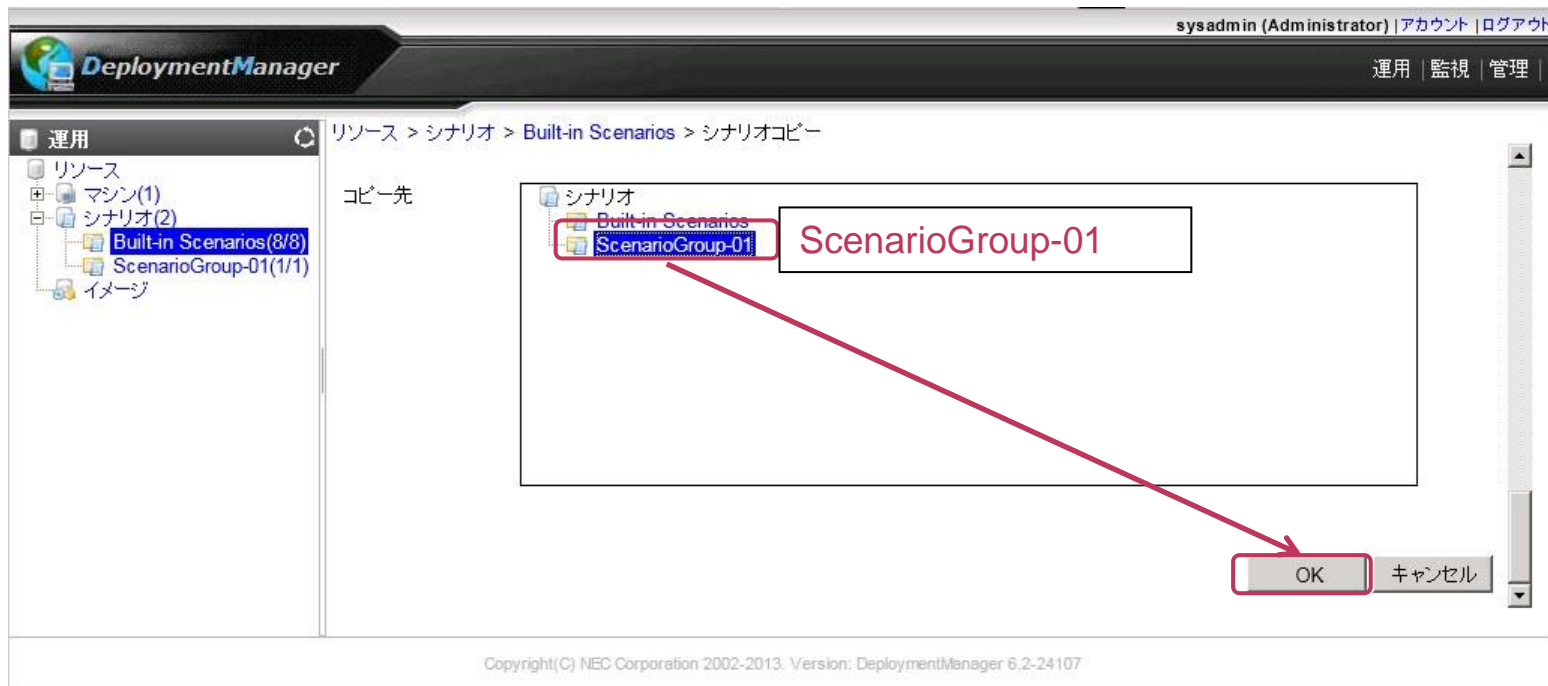
ディスク番号(先)

ディスク全体

4.1. 一括OS展開の準備

◆ 一括OS展開のシナリオの作成（4）

- 下方にスクロールして、「コピー先」欄で「ScenarioGroup-01」を選択して、「OK」をクリックします。



4.2. 一括OS展開モードをON

一括OS展開モードを利用するため、一括OS展開モードをONにします。

◆ DPMサーバの詳細設定画面表示

- Webコンソール上で、タイトルバーの「管理」をクリックして、「管理」ビューに切り替えます。
- 「管理」ビューから、「DPMサーバ」をクリックして、[設定]メニュー下の「詳細設定」をクリックします。

The screenshot shows the Deployment Manager web console interface. At the top, the user is logged in as 'sysadmin (Administrator)'. The navigation bar includes '運用' (Operation), '監視' (Monitoring), and '管理' (Management), with '管理' highlighted. The left sidebar shows a tree view with '管理' (Management) selected, and 'DPMサーバ' (DPM Server) highlighted. The main content area displays the configuration for the selected DPM server. The '設定' (Settings) dropdown menu is open, showing options like '詳細設定' (Detailed Settings), 'ガードパラメータ設定' (Guard Parameter Settings), 'パッケージのダウンロード設定' (Package Download Settings), 'ロード設定' (Load Settings), and '自動更新設定' (Automatic Update Settings). The '詳細設定' option is highlighted. The footer of the page contains the copyright information: 'Copyright(C) NEC Corporation 2002-2022. Version: DeploymentManager 6.120-36587'.

| 基本情報 | |
|---------------|-----------------------------------|
| 製品名 | DeploymentManager |
| 製品バージョン | 6.120-36587 |
| IP構成 | |
| IPアドレス | 192.168.1.1 |
| Webサイト情報 | |
| 説明 | Default Web Site |
| 通信プロトコル | Hypertext Transfer Protocol(HTTP) |
| IPアドレス:TCPポート | ANY:80 |

4.2. 一括OS展開モードをON

◆ シナリオ完了の判断方法の設定

- 「詳細設定」画面が表示されますので、[全般]タブをクリックします。
- 「シナリオの完了をDPMクライアントの通信で判断する」のチェックをONにします。

管理 > DPMサーバ > 詳細設定

詳細設定

全般 シナリオ ネットワーク DHCPサーバ 一括OS展開

ライセンス情報

ライセンス数 106

サーバ情報

コンピュータ名 WIN-9RRDH5BP4R2

IPアドレス ANY

サーバ設定

シナリオの完了をDPMクライアントからの通信で判断する

DPMクライアントを自動アップグレードする

イメージ設定

バックアップイメージ格納用フ... C:\DeployBackup 参照

イメージ格納用フォルダ C:\Deploy 参照

Deploy-OSのデフォルト値

Deploy-OSのデフォルト値 (IA3... ia32_110331_26

OK キャンセル

「シナリオの完了をDPMクライアントの通信で判断する」のチェックをON

「シナリオの完了をDPMクライアントの通信で判断する」がOFFの場合、ディスク複製OSインストールの途中のリストア完了時にシナリオ完了となりますのでご注意ください。

4.2. 一括OS展開モードをON

◆ 一括OS展開モードをON、一括OS展開の設定

■ 次に、[一括OS展開]タブをクリックします。

■ 「一括OS展開を使用する」のチェックをオンにし、各項目の設定を行います。

管理 > DPMサーバ > 詳細設定

詳細設定

全般 シナリオ ネットワーク DHCPサーバ **一括OS展開**

設定を変更した場合は、DPMサーバを再起動してください。

一括OS展開を使用する

同時実行可能台数 台

展開待ちタイムアウト 分

展開用グループ名

Deploy-OS ID

Deploy-OS

シナリオ名

OS種別

OSパスワード

対象モデル名

⚠ シナリオ実行中のマシンがある場合、すべてのシナリオが完了するまでお待ちください。
DPMサーバ(再起動後)から、新規発見したマシンをすべて自動的にグループに登録して、シナリオを配信します。

一括OS展開を使用しない

新規発見したマシンをすべて新規マシングループに登録します。

OK キャンセル

展開先グループ名：デフォルトの「AutoOSDeployment」のまま
シナリオ名：本書では、「System_AutoDeploy_win10」を入力
OS種別：「Windows 10 or later」選択
OSパスワード：本書では、「P@ssw0rd」を入力
対象モデル名：本書では、「PC-MJE34BZFC」を設定

■対象モデル名について

- モデル名を確認するには、製品本体に貼ってあるシール(装置銘板)で「型番」を確認してください。詳細は、以下を参照してください。

NEC LAVIE公式サイト「型番・製造番号の確認方法」

<https://support.nec-lavie.jp/navigate/support/download/help/Modelconfirm.html>

4.2. 一括OS展開モードをON

◆ 一括OS展開の設定完了

- 一括OS展開の各項目設定後、「OK」をクリックします。
- 注意喚起の画面が表示されます。「OK」をクリックします。
- 次に、サービス再起動実施の通知が表示されます。「OK」をクリックします。

管理 > DPMサーバ > 詳細設定

詳細設定

全般 シナリオ ネットワーク DHCPサーバ **一括OS展開**

設定を変更した場合は、DPMサーバを再起動してください。

一括OS展開を使用する

同時実行可能台数 台

展開待ちタイムアウト 分

展開用グループ名

Deploy-OS ID

Deploy-OS

シナリオ名

OS種別

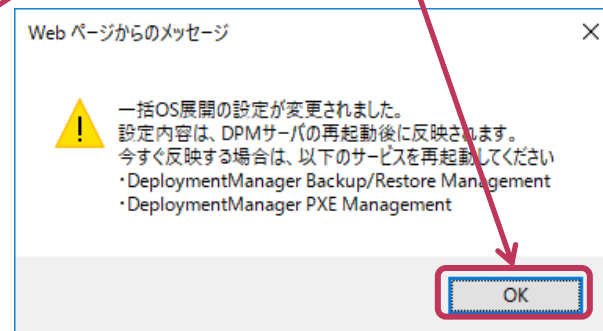
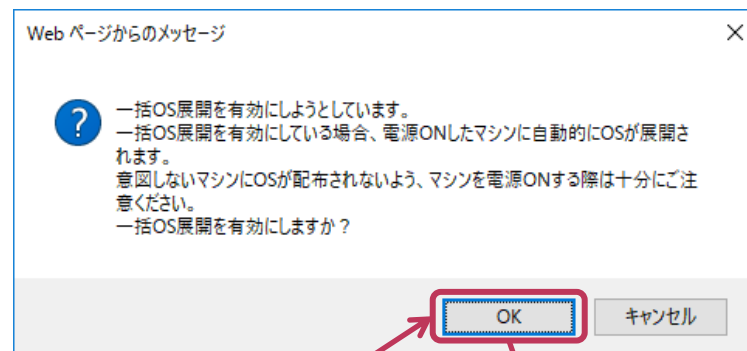
OSパスワード

対象モデル名

! シナリオ実行中のマシンがある場合、すべてのシナリオが完了するまでお待ちください。
DPMサーバ再起動後から、新規発見したマシンをすべて自動的にグループに登録して、シナリオを配信します。

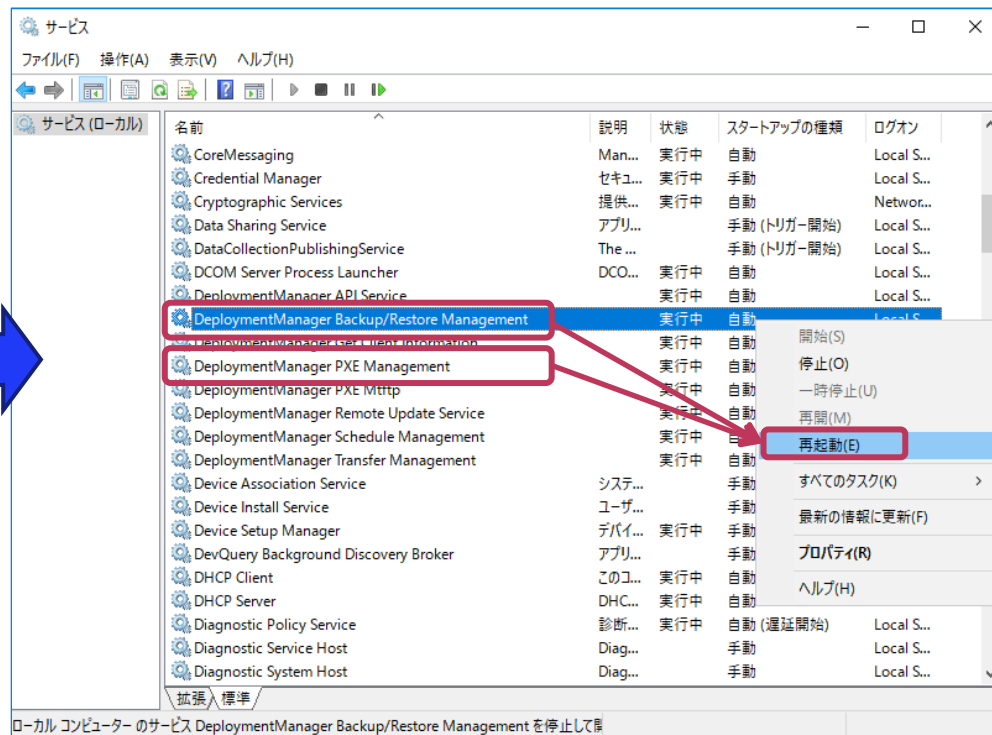
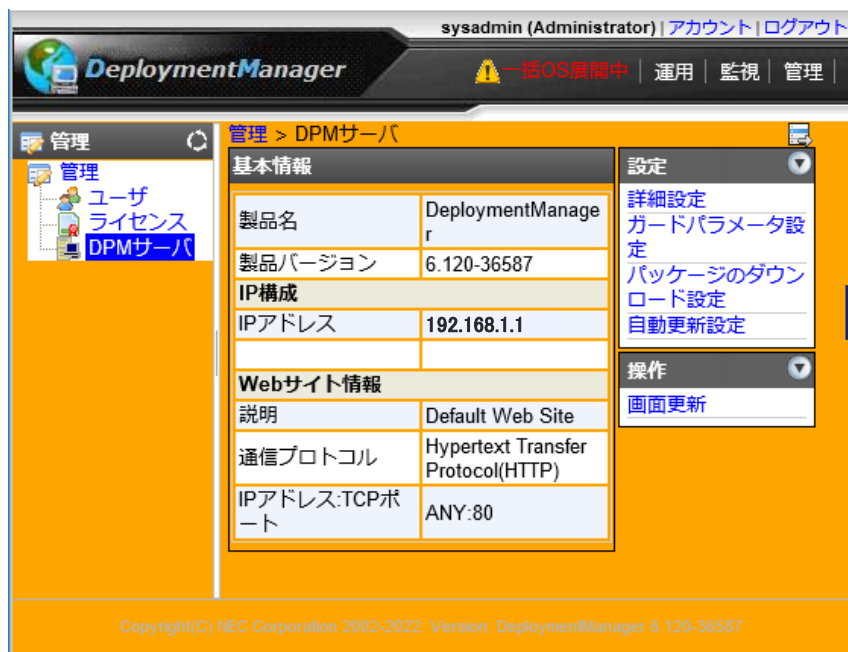
一括OS展開を使用しない

新規発見したマシンをすべて新規マシングループに登録します。



4.2. 一括OS展開モードをON

- ◆ 一括OS展開中のWebコンソール表示、サービス再起動
 - 一括OS展開モードが有効に設定すると、特殊なモードであることを注意喚起するため、Webコンソールの表示は以下のように橙色の表示となります。
 - 一括OS展開の設定を反映するため、OSのサービス画面([スタート]→[Windows管理ツール]→[サービス])にて以下のサービスを再起動します。
 - DeploymentManager Backup/Restore Management
 - DeploymentManager PXE Management



4.3. キットティング作業

準備ができましたので、キットティング対象のPCに対するキットティング作業を開始します。

◆ キットティング対象のマシンの準備

- マシンに、ACアダプターとLANケーブルを接続します。
- デスクトップPCの場合は、ディスプレイとキーボードも接続してください。
- 接続を終えたら電源ONボタンを押し、起動します。

4.3. キットティング作業

◆ ネットワークブートの設定、再起動

作成したWindows PEイメージをネットワークブートするための設定を行います。

- キットティング対象のPC初回起動時にBIOS設定のツールを起動します。
 - 本書で紹介するPC-MJE34BZFCでは、電源を入れた後すぐに[F2]を数回押します。
- デバイスのブート順位の変更やネットワークブートの有効化を行い、DPMで管理するNICでネットワークブートを行うように変更します。
 - MJE34/B-Cでは、「Startup」メニューで、「First Boot Device」を「Network」に設定します。次に、「Startup」メニューで、「First Network Device」を「Network 1」に設定します。
 - MJE34/B-Cでは、「Devices」メニューにある「Network Setup」メニューで、「PXE IPV4 Network Stack」を「Enabled」に設定します。
- 設定を保存して(PC-MJE34BZFCでは[F10]押下)、再起動を行います。

複数のNICが搭載されたマシンをDPMに登録する場合、DPMで管理を行うNICのみHDDより上位に設定し、それ以外はHDDより下位に設定してください。

4.3. キットティング作業

◆ PCの自動インストール(ディスク複製インストール)中

- キットティング対象のPCの再起動後、DPMによるディスク複製インストールの処理が自動的に起動します。
- 自動インストールの処理中は、キットティング対象のPCの画面で以下が表示されます。
 - 処理のフェーズにより、異なる画面が表示されます。
 - 処理中にマシンが何度か再起動されますが、次ページの状態にならない場合は、処理が完了していませんのでそのままお待ちください。

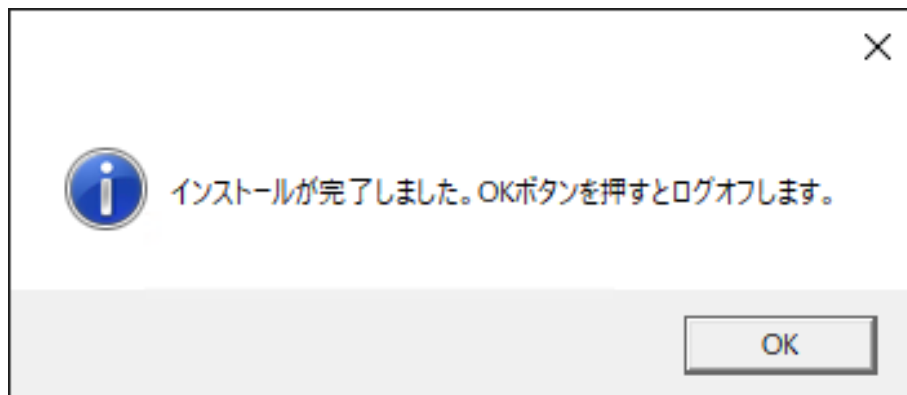
This computer will be rebooted to reschedule the Operating System deployment.
Press F8 to view menu. (16) _

```
DPHWinPEDesktop
Current Disk No. 1 / Total Count: 1
Progress: 93%
2022-09-02 18:37:55.999 Application GetDPMServerIP Exited with succeeded.
2022-09-02 18:37:55.999 DPM Server IP:172.16.0.1
2022-09-02 18:37:55.999 BootNIC Port:26508
2022-09-02 18:37:55.999 File transport Port:26508
2022-09-02 18:37:55.999 Bkressvc Port:26501
2022-09-02 18:37:56.015 Communication MAC:00-15-5d-ff-25-57
2022-09-02 18:37:56.030 Get DPM Server IP Successfully.
2022-09-02 18:37:56.061 BootNIC Start.
2022-09-02 18:37:56.140 Send BootNIC Request By:00-15-5d-ff-25-57
2022-09-02 18:37:56.140 Current IP:172.16.200.1
2022-09-02 18:37:56.468 PrimaryMAC:00-15-5d-ff-25-57
2022-09-02 18:37:56.468 PrimaryMACIP:172.16.200.1
2022-09-02 18:37:56.468 ACK received. BootNIC Successfully.
2022-09-02 18:37:56.468 BootNIC End.
2022-09-02 18:37:56.468 BootNIC set operation type:3
2022-09-02 18:37:56.483 WinItc.exe D:172.16.0.1 FD:Linux\config\BackupRestoreConfWinPE.ini X:\Windows\System32\NECDPM 26508
2022-09-02 18:37:56.765 Download BackupRestoreConfWinPE.ini successfully.
2022-09-02 18:37:56.796 UnicastSendTimeoutSec: 300
2022-09-02 18:37:56.796 UnicastRecvTimeoutSec: 300
2022-09-02 18:37:56.796 DispIntervalTimes: 1
2022-09-02 18:37:56.796 DiskCheckTimeoutSec: 2147483647
2022-09-02 18:37:56.796 ProgressRetryTimesForPE: 5
2022-09-02 18:37:56.796 ProgressIntervalTimeForPE: 1
2022-09-02 18:37:56.796 ProgressToSrvRetryTimesForPE: 5
2022-09-02 18:37:56.796 ProgressToSrvIntervalTimesForPE: 10
2022-09-02 18:37:56.796 RebootAfterErrorForPE: 0
2022-09-02 18:37:56.811 Restore Start.
2022-09-02 18:37:56.890 bind: 172.16.200.1
2022-09-02 18:37:56.905 Connect: 172.16.0.1 times:0
2022-09-02 18:37:56.905 Connect to DPM Server successfully.
2022-09-02 18:37:56.905 Get Machine Model Name Start
2022-09-02 18:37:57.265 wmic csproduct get name successfully.
2022-09-02 18:37:57.265 Model Name: Virtual Machine
2022-09-02 18:37:57.265 Get Machine Serial Number Start
2022-09-02 18:37:57.421 wmic bios get serialnumber successfully.
2022-09-02 18:37:57.421 Serial Number: 4376-9379-7265-9675-6184-2914-57
2022-09-02 18:37:57.421 Send OMDID to DPM Server.
2022-09-02 18:37:57.421 Send model name successfully.
2022-09-02 18:37:57.421 Send serial number successfully.
2022-09-02 18:37:57.760 Receive OP_CODE_OPENFO
2022-09-02 18:37:57.796 Receive progress
2022-09-02 18:37:57.796 Receive Disk Info
2022-09-02 18:37:57.843 Disk 1:
2022-09-02 18:37:57.843 Image Name: AutoDeploy-0001.Hu
2022-09-02 18:37:57.921 CFS Account: KST-MGR01\domshareuser
2022-09-02 18:37:57.921 CFS ShareFolder: \\KST-MGR01\DeployBackup$
2022-09-02 18:37:57.936 Send Restore Ready to DPM Server.
2022-09-02 18:37:57.936 From DPM Server get Scenario operation info successfully.
2022-09-02 18:37:57.969 Disk1 restore start.
```

4.3. キットティング作業

◆ 処理完了の確認、電源OFFの操作

- 自動インストールの処理が完了すると、キットティング対象のPCの画面に、以下の完了通知が表示されます。
- 「OK」をクリックすると、ログオフされ、ログイン画面が表示されます。
- ログイン画面では、ログインは行わずに、電源ボタンを押し、シャットダウンしてください。



■ 自動インストールの完了時の動作変更方法

- 上記の完了の通知画面を表示せずに、自動インストールの処理完了時に、電源OFF状態に動作を変更することも可能です。
変更方法は下記マニュアルを参照してください。
 - 「WebSAM DeploymentManager Windows PE版Deploy-OSの利用ガイド」の「4.5.1.3. マスタイメージ作成の準備をする」
 - 「WebSAM DeploymentManager 一括OS展開の利用ガイド」の「4.4. 一括OS展開の完了を確認する」

4.3. キットティング作業

◆ キットティング済のマシンの梱包作業

以上で、キットティング対象のPCは出荷できる状態です。

- キットティング対象のマシンのACアダプター、LANケーブル、ディスプレイ、キーボードの接続を外し、梱包作業を行います。
- キットティング対象のPCが残っている場合は、「4.3. キットティング作業」の始めに戻って作業を実施してください。

4.4. 一括OS展開モードをOFF

キッキング作業が完了しましたので、一括OS展開のモードをOFFにします。

◆ 一括OS展開中のWebコンソール表示

- キッキングの作業が完了したら、DPMを通常モードに戻します。
- Webコンソール上で、タイトルバーの「管理」をクリックして、「管理」ビューに切り替えます。
- 「DPMサーバ」をクリックして、[設定]メニュー下の「詳細設定」をクリックします。

| 基本情報 | |
|---------|-------------------|
| 製品名 | DeploymentManager |
| 製品バージョン | 6.120-36587 |
| IP構成 | |
| IPアドレス | 192.168.1.1 |

| Webサイト情報 | |
|---------------|-----------------------------------|
| 説明 | Default Web Site |
| 通信プロトコル | Hypertext Transfer Protocol(HTTP) |
| IPアドレス:TCPポート | ANY:80 |

| 操作 | |
|------|--|
| 画面更新 | |

4.4. 一括OS展開モードをOFF

◆ 一括OS展開の設定変更

- 「詳細設定」画面が表示されますので、[一括OS展開]タブをクリックします。
- 「一括OS展開を使用しない」のチェックをオンにし「OK」をクリックします。
- サービス再起動実施の通知が表示されます。「OK」をクリックします。

管理 > DPMサーバ > 詳細設定

詳細設定

全般 シナリオ ネットワーク DHCPサーバ **一括OS展開**

設定を変更した場合は、DPMサーバを再起動してください。

一括OS展開を使用する

同時実行可能台数 台

展開待ちタイムアウト 分

展開用グループ名

Deploy-OS ID

Deploy-OS

シナリオ名

OS種別

OSパスワード

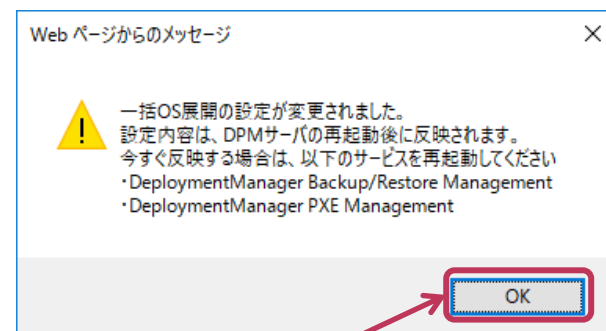
対象モデル名

⚠ シナリオ実行中のマシンがある場合、すべてのシナリオが完了するまでお待ちください。
DPMサーバ再起動後から、新規発見したマシンをすべて自動的にグループに登録して、シナリオを配信します。

一括OS展開を使用しない

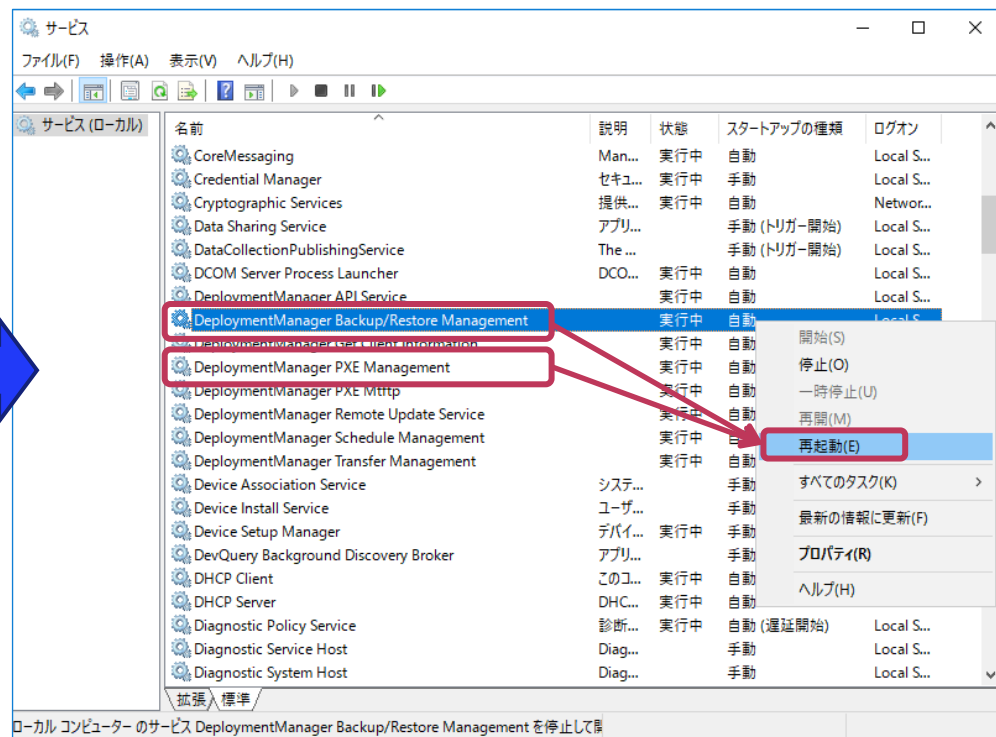
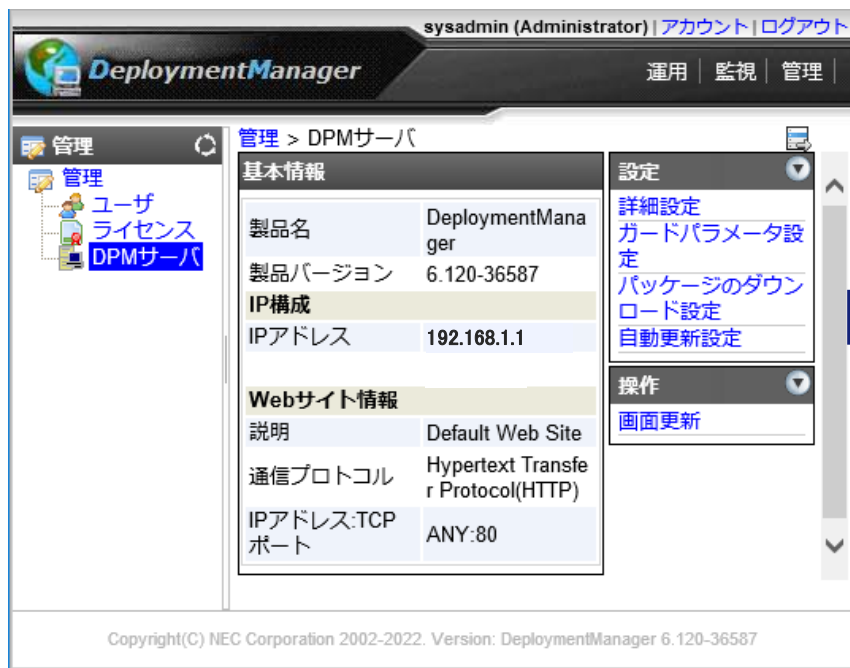
新規発見したマシンをすべて新規マシングループに登録します。

OK キャンセル



4.4. 一括OS展開モードをOFF

- ◆ 一括OS展開モードOFF後のサービス再起動、 Webコンソール表示
 - 一括OS展開モードを無効に設定すると、Webコンソールの表示色は、以下のように元に戻ります。
 - 一括OS展開オフの設定を反映するため、OSのサービス画面([スタート]→[Windows管理ツール]→[サービス])にて、以下のサービスを再起動します。
 - DeploymentManager Backup/Restore Management
 - DeploymentManager PXE Management



4.5. キットティング作業結果確認

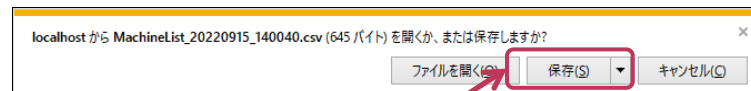
キットティングの結果を確認するため、CSVファイルのレポートを出力して確認します。

◆ マシン情報出力の操作実行

- 「運用」ビューから、グループ「AutoOSDeployment」を選択し、「操作」メニューの「マシン情報出力」をクリックし、任意のファイル名で保存します。

The screenshot shows the Deployment Manager interface. The left sidebar shows the tree view with 'AutoOSDeployment(5/5)' selected. The main area displays the 'グループ詳細' (Group Details) for 'AutoOSDeployment', including a table of machines with columns for name, IP, MAC, status, and power. The '操作' (Operations) menu is open, and 'マシン情報出力' (Export Machine Information) is highlighted. A red arrow points from this menu item to a file save dialog box on the right.

| 名前 | IPアドレス | MACアドレス | 状態 | 電源 |
|------------------|----------|---------------|----|----|
| USERNAM-7D39BL5 | 192.1... | f0-a1-cc-0... | | ? |
| USERNAM-DAGDDF1 | 192.1... | f0-a4-cc-0... | | ? |
| USERNAM-DM12NQR | 192.1... | f0-a2-cc-0... | | ? |
| USERNAM-LG6BG4QQ | 192.1... | f0-a3-cc-0... | | ? |
| USERNAM-PIBLAFD | 192.1... | f0-a5-cc-0... | | ? |



4.5. キットティング作業結果確認

◆ CSVファイルの閲覧、確認

- 「マシン情報出力」により出力されたCSVファイルを、エディタやExcelなどで表示して、キットティング作業の結果を確認します。
- 「シナリオ実行状態」の列の表示が「実行完了」の場合、各PCのキットティングの処理が正常に完了していることを確認できます。
- 「実行完了」以外になっている場合は、「WebSAM DeploymentManager 一括OS展開の利用ガイド」の「6. 注意事項、トラブルシューティング」を参照して、エラー原因を特定して、問題解決後に再度キットティングを行ってください。

| マシン名 | IPアドレス | MACアドレス | UUID | モデル名 | シリアル番号 | マシン状態 | 電源 | シナリオ名 | シナリオ実行状態 | 開始時間 | 終了時間 |
|-----------------|--------------|----------------|----------|-------------|----------------|-------|-----|-------------------|----------|----------------|----------------|
| USERNAM-7D39BL5 | 192.168.1.51 | f0-a1-cc-00-01 | 8e99d791 | PC-MJE34BZF | 0863-2610-6246 | | Off | System_AutoDeploy | 実行完了 | 2022/6/8 15:28 | 2022/6/8 15:31 |
| USERNAM-DM12NC | 192.168.1.52 | f0-a2-cc-00-01 | 113d55c1 | PC-MJE34BZF | 7421-0742-8372 | | Off | System_AutoDeploy | 実行完了 | 2022/6/8 15:32 | 2022/8/9 15:35 |
| USERNAM-G6BG4Q | 192.168.1.53 | f0-a3-cc-00-01 | 124eded | PC-MJE34BZF | 3219-6175-9466 | | Off | System_AutoDeploy | 実行完了 | 2022/6/8 15:36 | 2022/6/8 15:39 |
| USERNAM-DAGDDF | 192.168.1.54 | f0-a4-cc-00-01 | 1781ba76 | PC-MJE34BZF | 2664-4071-6808 | | Off | System_AutoDeploy | 実行完了 | 2022/6/8 15:40 | 2022/6/8 15:43 |
| USERNAM-PIDLAF | 192.168.1.55 | f0-a5-cc-00-01 | 93473874 | PC-MJE34BZF | 0273-9286-4429 | | Off | System_AutoDeploy | 実行完了 | 2022/6/8 15:44 | 2022/6/8 15:46 |

5. トラブルシューティング

- ◆ 「WebSAM DeploymentManager 一括OS展開の利用ガイド」の「6. 注意事項、トラブルシューティング」を参照して、問題解決を行ってください。

付録. PCのMACアドレス、UUID確認方法

◆ PCのMACアドレス、UUID確認方法について

■ 確認対象のPCにログインして、コマンドプロンプトを起動します。

■ MACアドレス

次のコマンドを実行します。物理アドレス列の情報がMACアドレスです。

```
>getmac -v
接続名          アダプター      物理アドレス      トランスポート名
=====
LAN1            Intel(R) Ethern  00-0C-29-99-D1-59  ¥Device¥Tcpip_{2FC7B6BE-0F3D-421B-9B5E-C259204325A0}
```

■ UUID

次のコマンドを実行します。

```
>wmic csproduct get uuid
UUID
564D34B9-B1A7-D188-960C-40B18A57E269
```

お問い合わせ先／製品ご紹介サイト

WebSAMに関するお問い合わせ先

NEC ファーストコンタクトセンター ソフトウェアお問い合わせ窓口

T E L : 0120 (58) 0595

受付時間：9：00～12：00 13：00～17：00 月曜日～金曜日（祝日・NEC所定の休日を除く）

<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/>

※本資料に掲載の会社名、製品名は各社の商標または登録商標です